

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇気玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)

令和6年1月25日発行
文責 松本 徹

2学期末(12月実施)学校アンケートについて

12月に、2学期の振り返りのアンケート(児童・保護者・職員)を行いました。その結果から今回は児童アンケートについてご紹介いたします。

このアンケート結果ですが、子どもたちの様子が分かるように7月のアンケートと比較してお知らせします。

児童アンケートの結果

	3P以上プラス				3P以上マイナス							
	R5.7月								R5.12月			
	とても そう思う	まあまあ そう思う	あまり 思わない	思わない	とても そう思う	まあまあ そう思う	あまり 思わない	思わない				
1 学校は楽しい。	55.3	36.8	6.6	1.3	55.8	36.4	6.5	1.3				
2 学校の勉強は、よくわかる。	56.0	28.0	12.0	4.0	53.2	35.1	10.4	1.3				
3 これまでに学習したことを使って、自分で課題(問題)に取り組もうとした。	38.2	40.8	11.8	9.2	33.8	37.6	20.8	7.8				
4 自分の考えを、相手に分かるように伝えようとした。	47.4	28.9	13.2	10.5	40.3	41.5	14.3	3.9				
5 話し合い活動では、相手の伝えたいことを考えながら聞くことができた。	47.3	36.5	10.8	5.4	53.2	31.2	9.1	6.5				
6 自分でめあてを立て、そのめあてに向かって読書に取り組んだ。	55.3	21.1	15.8	7.9	44.5	23.0	23.0	9.5				
7 自分たちの学級・学校をよりよくしようと考え行動した。	42.7	34.7	13.3	9.3	28.6	48.0	18.2	5.2				
8 学年の目標にしている時間は、家庭学習に取り組むことができた。	40.8	31.6	14.5	13.2	37.3	36.0	16.0	10.7				
9 「いつでも、どこでも、だれにでも」を意識して自分からあいさつしている。	47.4	32.9	13.2	6.6	46.7	36.4	9.1	7.8				
10 「にこにこチャレンジ はきはきあいさつ 自分から」ができた。	39.4	38.2	17.1	5.3	40.8	39.5	14.4	5.3				
11 ろうかや階段を歩いて静かに移動することができた。	24.3	37.8	31.1	6.8	25.6	43.6	23.1	7.7				
12 相手の気持ちを考えた言葉遣いをする事ができた。	40.8	46.1	9.2	3.9	41.4	33.3	20.0	5.3				
13 話しかけられたら、返事をすることができた。	67.1	26.3	4.0	2.6	63.2	26.3	7.9	2.6				
14 振り返りの場で、友達のがんばりや良さを発表したり、感想に書いたりすることができた。	42.1	39.5	14.5	3.9	51.9	27.3	13.0	7.8				

○1の「学校は楽しい」と2の「学校の勉強は、よくわかる。」は、とても重要なアンケート項目だと考えます。1の楽しいは9割を超えています、10割を目指していきたいです。

○6の「読書・・・」については、「めあて」を1学期から継続してしっかりと意識させていきたいと考えます。子どもの実態としては、今年度もすでに全校の一人平均の貸出数が100冊を超えています。

○あいさつについては、1学期に比べて少し数値が良くなっています。特に朝のあいさつはよくなっています。しかし、「いつでも・だれにでも」ということがまだまだなので、伸ばしていきたいです。

○12の「言葉遣い」の数値が大きく下がっています。気持ちよく生活をするためにはとても大切です。

	R5.7月				R5.12月			
	とても そう思う	まあまあ そう思う	あまり 思わない	思わない	とても そう思う	まあまあ そう思う	あまり 思わない	思わない
15 ふるさと日原について学ぶことで日原の良さを知り、手紙や新聞、発表などで伝えることができた。	42.1	25.0	15.8	17.1	50.6	31.2	10.4	7.8
16 体育の学習では、めあてをもって自分から進んで運動に取り組んだ。	67.1	32.9			81.8	18.2		
17 進んで、体育館や校庭で体を動かして遊んだ。	53.9	30.3	7.9	7.9	57.1	27.3	7.8	7.8
18 生活リズムについて、自分のめあてをもち、自分の課題に取り組んだ。	84.2	15.8			84.4	15.6		
19 がまん玉(めあてをもって粘り強く取り組む力)が大きくなった。	56.0	24.0	14.7	5.3	66.2	16.9	7.8	9.1
20 勇気玉(いろいろなことに挑戦する力・進んで取り組む力)が大きくなった。	80.0	20.0			83.1	16.9		
21 思いやり玉(誰にでも優しくかわる力)が大きくなった。	38.7	38.7	14.7	8.0	35.5	40.8	18.4	5.3
	77.3	22.7			76.3	23.7		
	51.3	34.2	9.2	5.3	55.8	31.2	7.8	5.2
	85.5	14.5			87.0	13.0		
	59.2	28.9	6.6	5.3	54.5	32.5	7.8	5.2
	88.2	11.8			87.0	13.0		
	61.8	23.7	10.5	3.9	63.6	19.5	10.4	6.5
	85.5	14.5			83.1	16.9		

○今年度になって、進んで外などで運動をする児童が増えています。2学期はサッカーや一輪車がブームになり、学年の枠を超えて遊ぶ姿が多く見られました。今は、「なわとび」を頑張っている児童が増えてきています。3学期は、「なわとび」に力を入れ、子どもたちが進んで取り組む(練習する)ように、支援をしていきたいと思ひます。

◎ご家庭にお願いしたいこと

このアンケート結果をもとに、お子さんとお話をしてみてください。子どもたちの成長を学校と家庭と地域が一緒になって支援していけたらと思います。よろしくお祈りします。

大谷 翔平 選手からのグローブが届きました



先日、「大谷 翔平 選手」からのグローブが届きました。写真にありますように、児童昇降口の机の上に置くことにしました。学校にお越しの際には、ご覧いただくとともに、手にはめてみてください。また、休み時間には自由にグローブが使えるように、ボールも一緒においっています。

工事のお知らせ(第2庁舎の撤去工事)

校庭の横にある旧津和野町役場第2庁舎の撤去工事が1月6日から始まりました。(撤去工事は、3月末までの予定)そして、令和6年度・7年度をかけて集会所ができていくと聞いています。(令和7年度中に完成予定だそうです。)

工事に伴って、児童の登下校の安全性については、きちんと説明がありました。

また、騒音についても、行事などへの配慮をしていただきます。現在、学習の妨げになるまでの大きな騒音にはなっていません。安全性や騒音など、今後も工事関係者と対話をしていきます。

日原小学校は駐車場が狭いので、参観日等には第2庁舎を駐車場として借りていましたが、令和7年度いっぱいまでは、第2庁舎の駐車場は使用できません。(校庭への駐車に対応します)保護者の皆様には、ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、日原地域の環境改善のため、ご理解をよろしくお願いいたします。

日原小学校 学校だより 12月号

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇氣玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)

令和5年12月25日発行
文責 松本 徹

3つの玉が大きくなりました

(**がまん玉** ・ **勇氣玉** ・ **思いやり玉**)

1番長い学期である2学期も、子ども達は授業に真剣に取り組みました。また、サッカーや一輪車などがブームになり、休み時間や放課後も遊んで(練習して)いる姿をたくさん見ました。また、学校だよりの10月号でお伝えしました「マス計算」に、熱心に取り組む姿も多くみられました。先日「私、たくさんマス計算のプリントをしました。」と頑張っているプリントを見せてくれました。「タイムも伸びて40秒を切りました。」と、自分の成長を喜ぶ姿もあり、私もうれしくなりました。

私は「点から線への学び」ということが大切だと思っています。1時間1時間の授業が点であり、休み時間や放課後、家庭学習が点と点をつなぐ線になるということです。

またこの2学期は、運動会、学習発表会、社会科・生活科見学(遠足)、生活科や総合的な学習の時間や社会科等の様々な校外学習、特別支援合同学習、平和学習、2校交流、小中交流会、学校保健委員会、ロードレース記録会、いい本みつけようの会等たくさんの行事があり、その度に子ども達の3つの玉は大きくなりました。

こうして子ども達がかんばることができるのは、ご家庭の皆様が子ども達をしっかり見守り、温かく接していただいているからです。この冬休みも充実した期間になれるよう、お手伝いをしたり、家庭のルールを守ったりできるよう、子ども達に言葉かけをお願いします。【新しい年の始まりです。メディアに関するルールについて、子ども達と話し合うよい機会にもなると思います。】

また、地域の皆様におかれましては、「毎朝の見守り」、「読み語り」、「クラブ活動」や様々な学習・活動等で大変お世話になっております。おかげさまで、子ども達の笑顔がたくさん見ることができました。紙面をかきとお礼申し上げます。3学期も引き続きよろしく願いいたします。



読み語り・子ども読み語り

日原小学校では、年間を通じて「読み語りボランティア」の方に読み語りをしていただいています。今年度も14名の地域(保護者)の方にお世話になっています。

隔週の木曜日の朝(8:10~8:25)、1年生から6年生までの各教室で学年にあった内容の本を読んでくださっています。また、学校行事や季節に合った本を読んでくださるなど、読み語りが学校の学習にもつながっています。とてもありがたいです。

子どもたちも、読み語りを楽しみにしており、読書活動のとても良い機会になっています。

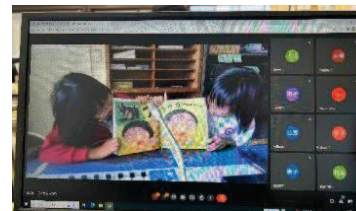
また、12月7日(木)~13日(水)には、「**子ども読み語り**」がありました。「子ども読み語り」は、児童の希望者が読み語りをするものです。各教室で行ったり、タブレットを使ってオンライン(LIVE)で行ったりもしました。今回も30人以上の子どもたちが「子ども読み語り」にチャレンジしてくれました。

日原小学校の子どもたちは、本をよく読みます。昨年も1人平均100冊以上(今年度も昨年度を上回る勢いです)の本を図書館で借りて読んでいます。

「進んで読書をする子」「進んで挑戦する子」の育成に向けて今後も取り組んでいきたいと思います。



※読み語りの方も、子どもたちとのふれあいを楽しみにして下さっております。



今年も、日原地区更生保護女性会よりご寄付をいただきました

先日、会長の中岡 豊美様、事務局の中村真寿美様が学校に来てくださり、ご寄付をいただきました。このご寄付で、学習のための本や、心を豊かに育てるための本を購入させていただきました。ありがとうございました。

【地域の皆様へ(お知らせとお願い)】

年賀状による年始のご挨拶を控えさせていただきます。今年も日原小学校の教育に対しまして、温かいご支援をいただきありがとうございました。今後とも本校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇気玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)

令和5年11月22日発行
文責 松本 徹

学習発表会特集

11月18日に日原小学校学習発表会を行いました。
今年度は久しぶりに、ご家族の皆様にも、地域の皆様にも(制限なく)ご覧いただくことができました。



ああまりっくす

スーパーああまりっくす
~みぞ玉やさん~

素敵な太極拳でした。みぞ玉もたくさん売れました。ご購入、ありがとうございました。



1年生

大きなかぶの
サラダげんき

みんな、とっても成長しました。とても堂々と演技をしていました。(勇気玉も大きくなっています)



2年生

みんなでニャーゴ
~たまおじさんがやってきた!~

「たまおじさん」の迫力ある演技。「ネズミたち」のかわいい演技。声も大きくて良かったです。



3年生

日原の
「はいねずみと金貨」

地域の良さを見つける学習をいっぱいしてきた3年生。一生懸命に表現をする姿が良かったです。



4年生

どうなる
高津川!!

ほぼ自分たちで考えた台本でした。いろいろなことを話し合って決め、主体的に発表に向けて取り組んでいました。



5年生

落語劇
「じゅげむ」「てんしき」

よく声が届いていて、とても聞きやすかったです。細かい動きの表現も効果的でした。エンディングも良かったです。



6年生

平和のバトンを
つなげよう

広島平和公園での社会科見学など、平和学習のまとめの発表でした。平和の大切さについてよく考え、自分たちの想いを表現していました。



全校

心を合わせて
みんなで歌おう♪

久しぶりの全校合唱でした。朝の会の時に各学級で歌い、全校での練習は3回でしたが、みんなの心が合わさっていました。



上を向いて歩こう
手拍子をしながらの移動もよかったです。

あなたにありがとう
各学年の良さを生かした2部合唱で、素敵なコーラスになりました。

日原小学校の学校教育目標は「未来に向かって主体的に学び行動する児童の育成」です。そして、今求められている児童の資質・能力を育てるために大切なことが「探求」です。今年の学習発表会も、発表に向けての練習の中で、子どもたちが主体的に考え・行動する姿が見られました。台本・セリフ・動き・立ち位置・歌など、先生が教えるだけでなく、自分たちで考えている姿がたくさんありました。休み時間にも楽しそうにダンスを考え、練習をしている姿、大道具や小道具をつくっている姿、セリフの練習をしている姿、たくさん素敵な姿を見ることができました。今回の発表の中にも、地域の皆さんにお世話になった学習の様子が見られます。子どもたちが、探求的な学習をしていくためには、地域の皆さんとの連携・協働した取り組みが大切になります。今後とも関わってくださるすべての方がWINになれるように考えながら、保護者・地域の方々と一緒に学びをすすめていけたらと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。

日原小学校 学校だより 11月号①

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇気玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)



令和5年11月22日発行
文責 松本 徹

学校給食用米贈呈式がありました。 (わくわくつわの協同組合からの米贈呈です。)

11月1日に木部の「おくがの村ライスセンター」で学校給食用米贈呈式が開催され、齋藤PTA会長さんと一緒に参加してきました。

岩本教育長さん、県の方、JAの方など多くの方が参加されました。

(写真の子どもは木部小学校の全校児童です。)



104袋(1袋・・・30Kg)のお米をいただいています。このお米の量は、なんと1年間の津和野町内のすべての小中学校給食で使用する学校給食米の半分に当たる量です。

【わくわくつわの協同組合とは】

平成22年1月に津和野町内の農業組合法人が集まり結成した共同組合です。「役には立つが、邪魔にならない組織」をモットーに、農業機械の共同利用による効率化や、転作作物の振興で活性化を図っていくなど、個々の組織では取組が困難な事業を実施することを目的に設立されています。現在は13の法人からなり、ヘリコプターによる防除や、飼料用稲の収穫作業の受託を行っております。

★日原小学校区では「つつみだファーム」がわくわくつわの協同組合に入っています。

(贈呈式には、原田 文雄様、中島 守様も参加されました。)

近年では、農業担い手の減少に歯止めをかけるため、新たな人材確保の取組として UI ターンでの定住者の受け入れを積極的に行っているほか、木部地区において燃料供給施設を運営しているなど、営農活動のみでなく地域活性化の取組もされています。

【生産者の方の想い】

津和野町では、年々人口が減少しており、以前に比べ子ども達も少なくなってきています。高校を卒業してからは進学や就職のため、町外に出て行く人も多いです。

これから巣立っていく子ども達に農業の大切さを、津和野の米を通じて知ってもらうとともに「ふるさとの味」として覚えて欲しい。辛い時、苦しい時はその味を思い出して津和野に帰ってきて欲しい。その想いから町内全ての農業組合法人から米を出し合い、町内の子ども達に対して米104袋を無償提供することとなりました。



今年度は、日原小学校の児童が書いたメッセージを贈呈式で紹介し、代表の系賀様にお渡ししました。

また、今年度は私(松本)が校長会を代表してお礼の言葉を述べました。

お米贈呈式 町校長会会長あいさつ

「わくわくつわの協同組合」の皆様、今年度も津和野町学校給食米の半分にあたるとてもたくさんのお米を寄贈してくださりありがとうございます。

津和野町のきれいな水、きれいな空気の中で栽培されたおいしいお米を十分に食べることができてとても幸せです。

さて、先日、給食委員会の児童が「わくわくつわの協同組合」の皆様へ、お礼のメッセージを書きましたので、一部ご紹介いたします。

○お米をくださってありがとうございます。かみ心地ややわらかさがとても好きです。これからも美味しいお米を作ってください。

○給食にたくさんのお米をくださり、ありがとうございます。粘り感や栄養があってとてもおいしいです。お米を作られるのは大変だと思いますが、これからもおいしいお米を作ってください。

○毎年、お米を提供してくださりありがとうございます。お米が輝いていておいしいです。来年もよろしく願います。

明日は全校朝礼があります。

今日のこと、そして、

「これから巣立っていく子ども達に農業の大切さを、津和野の米を通じて知ってもらうとともに「ふるさとの味」として覚えて欲しい。辛い時、苦しい時はその味を思い出して津和野に帰ってきて欲しい。」という皆様の願いを、全校の児童に伝えようと思います。ありがとうございます。

日原小学校 学校だより 10月号

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇気玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)

令和5年10月26日発行
文責 松本 徹

マス計算について

日原小学校では、昨年度から全校で「マス計算」に取り組んでいます。このマス計算では、計算力を高めるだけでなく、「3つの玉」も大きくしたいと考えています。

- ねらい**
- 基礎計算技能の向上を図る。
 - 伸びを実感させ、「算数への意欲」や「がんばれば伸びるという意欲」を高める。
 - 3つの玉を大きくする。
 - ・粘り強くやり抜く(がまん玉)
 - ・目標を持って挑戦する(勇気玉)
 - ・友達の頑張りも応援できる(思いやり玉)

マス計算で3つの玉も大きくしよう



マス計算で伸ばしたい力

1. 「速く・正確に計算できる力」

○授業中でも、家庭学習でも筆算など計算をすることは多くあります。その計算が、速く・正確になると、時間に余裕が生まれます。その生まれた時間で、更なる学びの機会が生まれます。

・私は、小学生のころ「そろばん」を習っていました。そこで、身につけた計算力は小学校の時も中学校も高校も・・・今も、とても役立っています。このマス計算は、そろばんと同じように計算力を高めることができます。

・私は担任時代、学級や学年の子ども達にマス計算を年間通じて行ってきました。マス計算を粘り強く取り組んだ子どもたちは、計算だけでなく、算数の力が大きく伸びました。その理由はたくさんありますが、下記の内容にもかかわってきます。

学年目標タイム

	たし算	ひき算	かけ算	わり算
1年	3分	3分		
2年	1分30秒	1分30秒	2分	
3年	1分15秒	1分15秒	1分15秒	
4年	1分	1分	1分	3分
5年	45秒	45秒	45秒	2分30秒
6年	30秒	30秒	30秒	2分

学年が終わるまでに目標タイムを達成できるようにしよう。

1年生と2年生のかけ算は、3学期から始まります。

2. 「粘り強くやり抜く力(がまん玉)、意欲をもって主体的に挑戦する力(勇気玉)が大きくなります。」

・マス計算は意欲をもって効果的に練習を続けると、必ず計算力が伸びます。(誰でもです) これまでの結果からみても、自学ポイントが一番多い児童が、たし算・ひき算・かけ算・わり算のすべての計算部門で、全校で1位になっています。このように、自学ポイントが上位の児童が、各部門で上位をしめています。(がんばれば、伸びます)

3. 「時にはライバルも大切(勇気玉)」

・例えば50mを走る時、1人で走るより、同じくらいの人と一緒に走る方が、速く走れます。また、タイムを測ると記録は伸びやすくなります。このことは、勉強でも同じことがよくあります。しかし、大切にしたい事、何度も伝えないといけないことがあります。それは、あくまで「高め合う」という気持ちを忘れないということです。「負けることを恐れて挑戦しない。」「負けたことでやる気を失ってしまう。」「そうならないように、「次は、もっと練習するぞ。がんばるぞ。」と思えるような言葉かけを大切にしていきます。ご家庭でも、毎月持ち帰ります「マス計算大会 自分の記録」をもとに言葉かけをお願いいたします。

4. 「トロフィー(賞)は、速く・正確に計算できる人に渡すものではありません。」

・児童昇降口にはトロフィーを飾っています。このトロフィーには、私が一番大切にしたい想いが込められています。**トロフィーを渡す人は、一番たくさん練習(自学)した人です。**すなわち、結果だけにとられるのではなく、過程(プロセス)が大切ということです。この自学のPOINT化は、学年に応じて変えています。学年により1問(25マスの計算)にかかる時間が違うからです。こうすることで、努力した量をおよそ測られるようにしています。

自学ポイントの方法

学年や四則計算によって計算する時間に差があるために以下の表のように点数化する。

	1年	2年	3年	4年	5・6年
たし算	5点	4点	3点	2点	1点
ひき算	5点	4点	3点	2点	1点
かけ算		4点	3点	2点	1点
わり算				8点	4点
九九プリント		5点	4点	3点	2点

すべて丸付けでプラス1点



5. 「お互いを思いやり、信頼する心(思いやり玉)を大きくする」

・友だちの伸びを素直に受け止め、「すごいね。」「がんばっているね。」が言える児童であって欲しいと思います。

「言葉かけ」により、子どもたちは成長していきます。

日原小学校 学校だより 9月号

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇気玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)

令和5年9月25日発行
文責 松本 徹

運動会 よくがんばりました

9月16日、小雨の可能性もありましたが、片付けまで雨も何とか持ち、運動会を実施することができました。今年の運動会は、保護者の皆さんだけでなく、来賓の皆さんや地域の皆さんも多くお越しいただき実施することができました。(日原保育所のみなさんも来てくださいました。)子どもたちのがんばる姿に、温かいご声援をいただきありがとうございます。

子どもたちは、6年生を中心によく頑張りました。「最後まであきらめずに挑戦する姿」「友達を温かく応援する姿」「勇気を出して表現する姿」など、たくさんの素晴らしい姿を見ることができました。

※保護者の皆様、片付けなどご協力をいただきありがとうございました。

開会式
ラジオ体操



選手宣誓と児童代表あいさつです。
3人とも一生懸命さが伝わってきました。

赤組「みんなで挑戦 勝利をつかめ！」
白組「みんなで心を合わせ光り輝こう！」

ラジオ体操：
低学年も上手でした。



低・中・高の個人種目(徒競走)

どの学年もセパレートのコースで行いました。



6年生 親子ふれあい種目

親子で体をぎゅう〜っと寄せ合い、笑顔いっぱい競技でした。



団体種目 低(玉入れ)・中(台風の目)・高(綱引き)



日小ピクス
久しぶりに行いました。
ご参加いただきありがとうございます。



幼児の旗とり
32名の参加がありました。



応援パフォーマンス

白組も赤組も、6年生のリーダーシップのもとよくがんばりました。
白組「心を合わせ 光輝いたで賞」
紅組「みんなで挑戦し 迫力があって賞」



1〜3年リレー 4〜6年リレー (白熱した戦いでした。)



閉会式
(児童代表あいさつ)

日原小の学校教育目標は、「主体的に学び行動する」を掲げていますが、運動会ではまさにその「主体的な姿」がたくさん見られました。
応援の準備など6年生には多くの役割がありましたが、最高学年として立派に自分たちの役割を果たしました。

日原小学校 学校だより 8月号

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇氣玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)



令和5年8月31日発行
文責 松本 徹

2学期スタート 始業式の話

8月29日(火)から2学期が始まりました。初日の登校ですが、多くの登校班がいつもより少し早い時間に登校してきました。また、元気なあいさつをする児童も普段より多くいました。きっと、新しい学期が始まり、張り切っているのだと思います。この「キラキラな姿」をチーム日原小学校(日原小職員、保護者の皆さん、地域の皆さん、教育委員会をはじめ関係機関の皆さん)で大切にしていこうと思います。2学期もご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

また、始業式では次のような話をしました。

校長先生は夏休みに、多くのスポーツの大会をテレビで観て「がんばれ〇〇」と応援しました。甲子園、世界陸上、バスケットボールワールドカップなど……。

その中で特に印象に残っているのが、世界陸上3,000m障害で活躍した三浦選手です。三浦選手は、知っている人もいると思うけど浜田市出身です。小学校の時から長距離や80mハードルなどをがんばっていました。校長先生も陸上の指導や審判を長年しているので三浦選手が小・中学生の頃のことを知っています。

3,000m障害決勝のライブ中、テロップが流れました。「私の陸上の原点は、小・中学校時代の恩師である上ヶ迫先生が築いてくださいました。」といった内容でした。その時、校長先生は嬉しさとありがたさで涙が流れました。

実は、上ヶ迫先生は今年の冬に事故にあい、大きなけがをされています。三浦選手は、きっとそのことを知り、上ヶ迫先生に勇気と元気を贈るために、報道にテロップの内容を伝えたのだと思います。

三浦選手は小学校の頃から、粘り強く練習に取り組み(がまん玉)、目標を持って挑戦し(勇氣玉)、あいさつなど「ふるまい」が素晴らしかったです。(思いやり玉)

さあ!今日から2学期が始まります。運動会もすぐにあります。今学期も「3つの玉」を大きくしていきましょう。(一部略)

家庭や地域での学び

1学期の終業式に、「学校以外の学びの場」について話をしています。
○家庭での学び…お盆の生活、家族のきまり・お手伝い、イベント(旅行など)
○地域での学び…公民館行事、地域行事、あゆっこワクワク広場、(児童クラブ)、スポーツ少年団活動、習い事、各種団体主催のイベントなどに進んで参加

この、夏休みはどうだったでしょうか。2学期以降も「家庭の学び」と「地域の学び」を大切にしていってほしいと思います。

9月16日の日原小運動会について

コロナ感染症についてはなかなか治りませんが、5類に移行したこともありますので、コロナ前に行っていた保護者・地域種目も復活して行います。昨年度から増えるのはこの3種目です。

1つ目は「日小ピクス」です。【予定時刻：9：45】

「運動会で多くの方々に観ていただこう」と1学期の間、子どもたちは日小ピクスを行ってきました。夏休み明けには、隊形を考えた練習も行っています。(自分の地域の前で踊る予定です。)ご家族・地域の皆さんの中には、日小ピクスが踊れる方もおられると思います。ぜひ、子どもたちと一緒に踊ってください。(曲の途中から皆さんも参加できるようにしています。)

2つ目は「綱引き」です。【予定時刻：10：00】

保護者の皆さんだけでなく、地域の皆さんもご参加ください。チームは2チーム。学校を起点にして上(かみ)・下(しも)に分かれて行きます。人数も年齢も性別も制限はありません。参加してみようと思われる方全員で行きます。当日その場で、お呼びかけしますので、ふるってご参加ください。

3つ目は「幼児の旗とり」です。【予定時刻：10：20】

小学校入学前のお子さん!「お菓子いっぱい旗」を準備しています。もちろん0歳児さんも参加OKです。(だっこしてもらっての参加も大丈夫)また、ご親戚の方など、日原以外の地域にご在住のお子さんもOKです。皆さんのかわいらしい笑顔で会場を盛り上げてください。

保護者・地域のみなさんの入場制限はありません。子ども達の頑張る姿に、大きな声援と拍手をお願いいたします。

運動会ですが、半日開催です。(8:45…開会式 ~ 12:00…閉会式)【予定】

※半日開催の理由

近年は暑い日が多く、運動会時期も熱中症が心配されます。1日開催ですと種目数も増え、そのための練習も増えます。子ども達・先生方の安全・負担を考え、半日開催としています。

お礼

保護者の皆様、8月19日はPTA奉仕作業・学校クリーンアップ大作戦にご協力いただきありがとうございました。

教室にワックスをかけることができました。また、様々な環境整備も行っていただきました。とてもきれいな環境の中で2学期を始めることができました。

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇気玉)
お互いを認め信頼し合える(思いやり玉)

令和5年6月27日発行
文責 松本 徹

あいさつについて

あいさつは、どうして大切でしょうか？

児童の皆さん、今まで考えたことはありますか。今回の学校だよりは、あいさつについて児童の皆さんにしっかりと考えてもらいたく書いています。

保護者の皆さんは、日原小学校の子どもたちのあいさつについてどう思われますか？

お子さんのあいさつはどうか？

地域の皆さんはどう思われますか？

私は、子ども達のあいさつは、2極化しているように感じています。朝も昼も帰る時も誰に対しても気持ちの良いあいさつをしている子どももいます。基本的にはできていますが、決まった時にしかできていない子どももいます。

また、残念ですが、ほぼあいさつができていない子どももいます。

では、まず私が考える「よいあいさつ」について示します。児童の皆さん、いくつ◎がつかますか？そして、自分のあいさつは何点だと思いますか？

下の表に自分のあいさつについてふりかえり、書いてみましょう。

児童のみなさんへ・・・◎・○・△や自分のあいさつの点数を書きましょう。

質問 NO.	ないよう	◎・○・△
1	あいて つた こえ おお 相手に伝わる声の大ききであいさつをしている。	
2	あいて かお み 相手の顔を見てあいさつをしている。	
3	とき あいさつの時にはえしゃくをしている。	
4	じぶん さき 自分から先にしている。	
5	いつでもしている。(朝も 昼も 夕方・夜)	
6	だれにでもしている。	
7	がっこう 学校だけでなくどこでもしている。	
8	じぶん なんてん 自分のあいさつは何点？(100点満点)	てん 点

お子さんが書いた「あいさつについてのアンケート」を見られて、各ご家庭でお子さんと話し合ってみてください。皆さんであいさつをしようというムードを築いていきましょう。よろしくお願い致します。

学校での取り組み

今年は児童が主体となってあいさつがよくなるように取り組んでいます。

学校教育目標にも載せている学校スローガンもそうです。

にこにこ チャレンジ はきはきあいさつ 自分から

あいさつ当番として委員会の子も達が各学級を毎朝回っています。

他にも、学校スローガンを受けて各学年で取り組みを考え実践しています。

7月5日には代表委員会が開かれ学校スローガンの達成に向けての各学年の取組についての報告をします。



さて、あいさつもそうですが、子どもたちが成長していくためには、「3つの力」が必要だと考えます。この3つがそろったとき、大きな成果をもたらします。

成長するために大切なこと

自分の力

一人ひとりのやる気
そして、
3つの玉が大切

友だちの力

全体のムードや
風土が大切
みんなの心が一つに

まわりの力

学校・保護者・地域
同じベクトルで
温かい(時には厳しい)言葉かけ

「保護者・地域の皆様」ありがとうございます。

今年度も保護者・地域の多くの皆様と一緒に教育活動を進めています。一部ですがご紹介いたします。



日原小学校 学校だより 5月②

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇気玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)



令和5年5月26日発行
文責 松本 徹

津和野町小体連 陸上大会

5月18日には、津和野町小体連陸上大会が津和野小学校を会場に行われ、本校からも5・6年生が出場しました。

今年度も、学びをつなげる(点から線に)を大切にしています。(これは、陸上練習に限りません)すなわち、体育の時間の練習だけではなく、主体的に自分(自分たち)で練習する意欲が大切です。私は走り幅跳びを担当しましたが、昼休みに6年生が「練習をしたいので、見てください。」と一言に来てくれて何度か練習をしました。この行動は、走り幅跳びの技能を高めるだけでなく、心を育てる事にもつながります。こうやって意欲が高まった子どもたちは、大会に強い思いで参加できたと思います。このように休み時間や休みの日に主体的に練習する児童が見られました。

当日は、一人ひとりが自分の力を出そうと一生懸命競技に臨んだり、友達を応援したりしました。また、他校の友達とかかわる姿が見られたことも良かったです。

【3位までの入賞者】

	5年女子	6年女子	5年男子	6年男子
100m	1位 16秒0	3位 16秒6	1位 16秒0	2位 15秒6
長距離 女子(800m) 男子(1000m)		1位 3分31秒	2位 3分56秒	
走幅跳		1位 3m25(大記録)	3位 3m11	1位 3m68
走高跳	1位 1m14(大記録)		2位 1m00 3位 90cm	2位 1m05
ソフトボール投	1位 30m77 3位 25m65	2位 24m53		2位 33m80 3位 30m02

100m



長距離



走幅跳



走高跳



ソフトボール投げ



親睦リレー



閉会式(トロフィー授与)



6年生



5年生



「優勝」「入賞」することはもちろん素晴らしいことですが、一番大切にしたいことは、
 ☆「自分の記録が伸ばせたか」
 ☆「この大会を通じて主体的に考え・行動してきたか」
 ☆「大会を振り返り、今後に生かすことができるか」
 だと思います。
 また、津和野町の5・6年生が一堂に会するのは、この陸上大会だけです。
 多くの友達と関わる事ができた子どもも多かったです。しかし、あまり関わる事ができなかった子もいたと思います。そこで、これからの生活でどんな力を伸ばせばいいのかを考え・行動して欲しいと思います。
 例えば、
 ☆自分からあいさつをする
 ☆自分の思いを相手に伝える
 ☆みんなの前で話す。 などの事です。
 この陸上大会を今後の生活に活かしていきけるよう支援していきたいです。
 保護者の皆様、地域の皆様、今後とも子どもたちに温かい言葉かけをお願いいたします。

自分の力が出せた児童、残念ながら出せなかった児童と様々ですが、「うれしい・くやしい」など心が大きく動くことが最も大切だと思っています。

今年度5・6年生は、自分たちの力で学校をより良くしていこうと「児童会活動を今まで以上に積極的にを行っています。」陸上大会を通して得た力でこれからも主体的に取り組んでいきましょう。

今後の体育的活動のお知らせ

今年度は、全校の体育的な活動を季節ごとにまとめ、今まで以上に子どもたちが集中し・意欲をもって臨めるようにしていきます。これからは、日小ピクスを全校で行います。(運動会では種目に入れる予定です)また、ロードレースは運動会後に集中して取り組み10月31日にロードレース記録会を行います。また、冬には全校でなわとびに挑戦していきます。

こうして、全校が一つになって取り組むことで(集団の力によって)、個も集団も成長させていきたいと思っています。

日原小の子

新しいコロナ対応 (5月8日以降の学校生活について)

5月8日に新型コロナウイルス感染症も5類感染症へと移行いたしました。そこで、今後のコロナ対応についての要点をお伝えいたします。

出席停止が、大きく変わります。

- ・感染症による出席停止期間は「発症の翌日から5日間を経過し、かつ、症状が軽快してから1日を経過するまで」を基準とする。
- ・濃厚接触者の特定はされなくなる。

○マスクの着用は求めません。(教職員や学校に来られる方々も同様です。) 但し、給食準備や調理活動などは、コロナ前と同様にマスクを着用します。また、高齢者施設訪問など、社会一般においてマスクの着用が推奨される場面では、着用を推奨します。

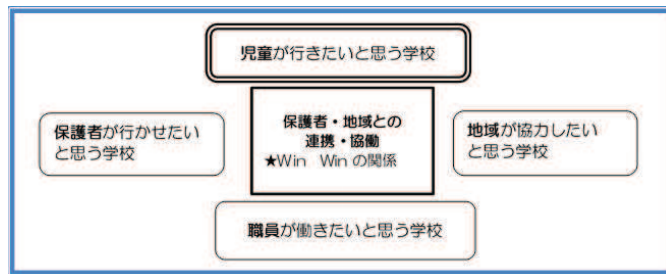
- 手洗いが原則となります。(手指消毒は補助的に用いる程度となります。)
- 換気については引き続き行います。
- 毎朝の体温チェックカードの提出はありません。但し、健康状態の把握についてはお願いします。
- 給食中の「黙食」も必要なくなります。(楽しく会話をしながら食べることができます。)
- 机を離すなど、身体的距離の確保も必要なくなります。
- ただし、感染流行時には、「身体的距離を確保する」「近距離・対面・大声」での発声や会話を控えるなどの対策を行うことがあります。

運動会や学習発表会、卒業式など学校行事等にも、多くの方々がご参加いただけるようにしていきます。保護者・地域の皆様、気軽にご来校ください。

学校教育目標に向けて同じベクトルで

私が理想とする学校は、安全・安心「楽しい学校」です。

そのために大切にしていることが、児童を中心に保護者・地域・職員が「ONE TEAM」となって学校目標に向けて同じベクトルで取り組んでいくことです。



学校の教育目標が広く保護者・地域の方に浸透し、同じ思いを持って(同じベクトルで)子どもたちに接すれば、より大きな力となって子どもたちの成長を助けます。

「主体的に行動する」という学校教育目標を掲げている本校は、子どもたちが主体的に考え行動する場の設定を大切にしたいと思っています。また、学校教育目標の土台として「3つの玉」を掲げて

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇氣玉)
お互いを認め信頼し合える(思いやり玉)



います。保護者の方、地域の方々、よろしく願い致します。

また、一般的に「指示待ちの子どもたち」と言われることがあります。それは、子どもたちが悪いのでしょうか？私は、周りの人が、教えすぎているからかもしれないと考えます。子どもたちが早くうまくできるように、失敗しないようにと、段取りよく教えることばかりをしていると、1つの事が終わった後、次の指示を待つようになっていくと思います。

そこで、保護者の皆さんも地域の方々も、今までより少しだけ、子どもたちが主体的に行動できるようなかかわり方をしていただけませんか。多くの方が同じ思いを持って関わってくだされば、子どもたちは大きく成長すると思います。

令和5年度 日原小学校教育目標

未来に向かって主体的に学び行動する児童の育成

主体的に行動する

かしこい子 (学力)

やさしい子 (感じる心・関わる力)

社会性

仲間とともに
わかった！できた！

たくましい子 (耐力・体力)

にこにこ チャレンジ はきはきあいさつ 自分から
めざす児童像の基盤(土台)にあるもの

3つの玉

がまん玉

あきらめずに やりぬくこう！ (粘り強くやり抜く)

負けないで やってみよう！

(粘り強くやり抜く)

成長しよう

自分が好き！ (自らを愛せ、自己肯定)

日原が好き！ (ふるさとを愛せ、誇りに誇る)

明るいあいさつ！ (学年をあいさつができる)

勇気玉

わたしにまかせて！ (勇気)

自分の気持ちを伝えよう！ (コミュニケーション能力)

思いやり玉

まわりの人を大切に！ (思いを認め、尊重)

仲間を信じよう (お互いを認め、信頼し合える)

安心・安全 楽しい学校

この「にこにこ チャレンジ はきはきあいさつ 自分から」は、6年生が考えたスローガンです。太字の「に・チ・は・ら」で日原になります。よく考えられた素晴らしいスローガンだと思います。

6年生が話し合う様子



スローガン発表



日原小学校 学校だより 4月号

日原小の子

結び強くぐり強く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇気玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)

令和5年4月18日発行
文責 松本 徹

日原小学校 教育ビジョン

保護者の皆様、地域の皆様、令和5年度もよろしくお願いいたします。さて、年度の始めです。学校で大事にしている「3つの玉」について、ご紹介いたします。日原小学校では、「がまん玉」「勇気玉」「思いやり玉」の「3つの玉を大きくしていく」ということを土台に、学校教育目標である「**未来に向かって主体的に学び行動する児童の育成**」を目指してまいります。詳しくは次回の学校だよりで「私の思い」と合わせて、詳しくご説明いたします。

さて、いよいよコロナも5類に変更になる(5月8日)など、コロナ後の生活が始まります。学校も3密には気を付けますが、マスクの着用も自由にするなど、大きく緩和されてきました。

(保護者・地域の皆様が学校に来られる際のマスクの着用も自由です。)

今年度は、R4年度よりさらに「学校」「家庭」「地域」が連携した活動を行っていきたいと思います。(WIN・WINの活動になるようにしながら)ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

ご入学おめでとございます

4月11日に、入学式を行い、11人の1年生を迎えました。今年の入学式は、全校児童が参加して行いました。また、来賓の方々にもお越しいただきました。(庵野 教育委員 様に告辞をしていただきました。)

歓迎の言葉は、6年生の長嶺 里音さんが、心を込めて話しました。在校生もみんな立派な態度で温かく1年生を迎えました。

1年生には、「3つの玉」についての話をしました。 ※ すでに3つの玉を覚えてくれました。

9年間の義務教育がはじまりましたが、子どもたちが笑顔で楽しく学校に通えるように取り組んでまいります。



職員の紹介

令和5年度の日原小学校は、新たに「くすのき学級」が開設され「9学級」となりました。また、職員は5名の異動があり、「橋口先生(津和野中)」「川越先生(邑南町)」「竹田先生(七日市小)」「青木先生(新任)」「葉末先生(安田小)」の5人が日原小に赴任してまいりました。

職員・保護者・地域の方々とのつながりや関わりを広く・深くし、一緒に子どもたちの成長を支えていければと思います。皆様、よろしくお願いいたします。



6年担任 佐々木しのぶ	事務 橋口裕恵	専科 葉末 紘子	にこにこサポート 松元 文子	学習支援員 松本 祐子	養護教諭 桑原 陽子	栄養教諭 田原きらら	学校図書館司書 木村 奈穂	学校校務員 山田 明美	
5年担任 川越 弘喜	4年担任 青木 大空	あおぞら担任 福原 康子	3年担任 名田 恵子	教頭 名目良 明利	校長 松本 徹	くすのき担任 竹田 宏美	2年担任 山崎 明子	1年担任 大場由紀子	ひだまり担任 右田 裕子

この他にも、学習支援員の「藤井 寛巳」「草田比呂子」がおります。また、6人の調理員の方々、SC,ALT,SSW,通級など多くの方々と共に「チーム日原小」で取り組んでまいります。※今年度は保小連携「架け橋事業」として教育魅力化コーディネーターの太田 幸輔さんも大きく日原小に関わってくださいます。

また、児童クラブ(ひまわりクラブ)やあゆっこワクワク広場、各公民館(日原、滝元枕瀬、左鍔、須川、池河)ともしっかりと連携し、ベクトルを同じにして取り組んでいきたいと思ひます。

お知らせ つわの スクール NET をご覧ください。

つわのスクール NET には、町内小中学校の様々な情報が掲載されています。

- ・ 学校要覧
- ・ 学校だより (過去のもの)
- ・ 主要行事予定表
- ・ 月別行事予定表
- ・ 放課後児童クラブについて
- ・ いじめ防止基本方針
- ・ 給食献立表
- ・ など (他にもあります)

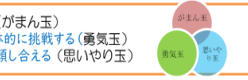
「日原小学校教育目標(日原小学校要覧に)についても掲載しています。」
今は、まだ今年度のは掲載していませんが、4月下旬には掲載予定です。

☆【津和野スクールネット】で検索すると見つかります。

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇氣玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)

令和5年 2月22日発行
文責 松本 徹



粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇氣玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)



最近、休み時間や放課後になわとび楽しんでいる(練習している)姿をよく見かけます。「校長先生。見てください。」「二重あや跳び(はやぶさ)ができるようになりました。」「二重跳びを見て下さい。」などと声をかけてくれます。

「すごい!」「いっぱい練習したんだね。」などと。私もとっても嬉しい気持ちになります。きっと、できるようになるまでには、粘り強く(楽しみながら)練習したのだと思います。

また、4月から全校で取り組んでいる「マス計算」でも同じようなことがたくさんあります。1月からは、ついに1年生も始めました。マス計算は、目標をもって粘り強く学習を続けると必ず速く・正確に計算ができるようになります。そのことを感じた児童も多いと思います。今回は、マス計算で伸ばしたい力についてご説明いたします。

マス計算で伸ばしたい力

1. 「速く・正確に計算できる力」

○授業中でも、家庭学習でも筆算など計算をすることは多くあります。その計算が、速く・正確になると、時間に余裕が生まれます。その生まれた時間で、更なる学びの機会が生まれます。

・私は、小学生のころ「そろばん」を習っていました。そこで、身につけた計算力は小学校の時も中学校も高校も…今も、とっても役立っています。このマス計算は、そろばんと同じように計算力を高めることができます。

・私は担任時代、学級や学年の子ども達にマス計算を年間通じて行ってきました。マス計算を粘り強く取り組んだ子どもたちは、計算だけでなく、算数の力が大きく伸びました。その理由はたくさんありますが、下記の内容にもかかわってきます。

2. 「粘り強くやり抜く力(がまん玉)、意欲をもって主体的に挑戦する力(勇氣玉)が大きくなります。」

・マス計算は意欲をもって効果的に練習を続けると必ず計算力がつきます。(誰でもです)日原小学校の子ども達の中にもこの1年間で粘り強くやり抜いている児童がいます。その子たちは、結果にも表れています。こうして、結果が出てくると、次なるやる気が生まれます。

3. 「時にはライバルも大切(勇氣玉)」

・50mを走る時、1人で走るより、同じくらいの人と一緒に走ると記録が伸びます。また、タイムを測るだけでも記録は伸びます。このことは、勉強も同じだと思います。しかし、大切にしたい事、何度も伝えないといけないことがあります。それは、あくまで「高め合う」という気持ちを忘れないということです。「負けることを恐れて挑戦しない。」「負けたことで自信を失う。」そうならないように、「負ける悔しさも大切。」「次は、もっと練習する。」と思えるように言葉かけをしていきます。

4. 「トロフィー(🏆)は、速く・正確に計算できる人に渡すものではありません。」

・児童昇降口にはトロフィーを飾っています。このトロフィーにこそ、私が一番大切にしたい思いが込められています。**トロフィーを渡す人は、一番たくさん練習(自学)した人です。**すなわち、結果だけにとらわれるのではなく、過程(プロセス)が大切ということです。この自学のPOINT化は、計算が速い人が有利というわけではありません。前回までの最高記録を基にPOINTをつけているからです。

(例)

計算を1分以内でできる児童が50問勉強をした場合 $1点 \times 50 = 50点$

計算が3分かかる児童が50問勉強をした場合 $3点 \times 50 = 150点$

すなわち、学習に費やした時間(集中して取り組んだ時間)がPOINTになります。

5. 「お互いを思いやり、信頼する心(思いやり玉)を大きくする」

・友だちの伸びを素直に受け止め、「すごいね。」「がんばっているね。」が言える児童であって欲しいと思います。

この「できるようになるまで粘り強く(楽しみながら)練習をする(取り組む)力」はもちろん、マス計算やなわとびだけでつくものではありません。「あいさつ」「言葉遣い」「人前で発表する。」など。もちろん各教科の勉強でも。さあ、3月はまとめの学期です。一人ひとりが、様々なことに挑戦して欲しいと思います。

日原の未来を考える

日原小学校では、総合的な学習の時間を中心に探究的学習を行っています。今回は、6年生の学習についてご紹介いたします。

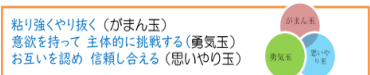


6年生は、日原の未来を考える学習をしてきています。以前お知らせしました「かわべで行ったお祭り」もその一つです。2月にも議会学習(町議員さんに直接、自分たちが考えたアイデアを伝え、意見をいただく学習)や中学1年生と合同で日原の未来を考える学習を行いました。日原の未来の学習の中には、今度できる「スーパーマーケットに欲しいもの」についても意見が交わされました。6年生と中学1年生と一緒に考えた意見が生かされるスーパーマーケットができると素敵ですね。



また、6年生はもうすぐ卒業です。15名の6年生が心豊かに巣立っていけるようにしていきたいと思っています。また、1年生から5年生も「卒業式」や「6年生を送る会」を通して、お世話になった6年生に想いを伝えることができるとともに、この大切な行事を通して、大きく成長できるようにしていきたいと思っています。

日原小の子



令和4年12月23日発行
文責 松本 徹

2学期も3つの玉が大きくなりました

(**がまん玉** ・ **勇気玉** ・ **思いやり玉**)

1番長い学期である2学期も今日で最終日となりました。2学期も子ども達は国語や算数などの授業に真剣に取り組んでいました。また、なわとびや鉄棒、サッカーやバスケットボールなど授業で学んだことがブームになり、休み時間や放課後も練習(遊び)している姿をたくさん見ました。(運動はよく見えますが、漢字や計算、九九など様々な学習も学びの日常化につながっていたと思います。)

私は「点から線への学び」ということが大切だと思っています。1時間1時間の授業が点であり、休み時間や放課後、家庭学習が点と点をつなぐ線になるということです。ですから、宿題は終わらせるのが目的ではなく、いかに理解・習得するか、考え・表現するかが大切になってきます。子ども達の学びが線になるように、関心・意欲を高めていきたいと思っています。

またこの2学期は、運動会、学習発表会、社会科・生活科見学(遠足)、生活科や総合的な学習の時間や社会科等の様々な校外学習、特別支援合同学習、平和学習、2校交流、小中交流会、教育実習(石川先生)、学校保健委員会、ロードレース記録会、いい本みつけよの会等たくさんの行事があり、その度に子ども達の3つの玉は大きくなりました。本日子ども達は「あゆみ」を持って帰りますが、2学期のがんばりをしっかりとほめてあげてほしいと思います。

こうして子ども達がんばることができるのは、ご家庭の皆様が子ども達をしっかりと見守り、温かく接していただいているからです。この冬休みも充実した期間になれるよう、お手伝いをしたり、家庭のルールを守ったりできるよう、子ども達に言葉かけをお願いします。【新しい年の始まりです。メディアに関するルールについて、子ども達と話し合うよい機会にもなると思います。】

また、地域の皆様におかれましては、「毎朝の見守り」、「読み語り」、「クラブ活動」や様々な学習・活動等で大変お世話になっております。おかげさまで、子ども達の笑顔をたくさん見ることができました。紙面をかりてお礼申し上げます。3学期も引き続きよろしく願いいたします。



クラブ活動の様子(今年度から地域の方によるクラブ活動が再スタートしました。)

ロードレース記録



12月9日の3校時、今年度2回目の校内ロードレース記録会を行いました。子どもたちは元気にいっぱい走り、たくさんの自己新記録が誕生しました。

この日のために、体育や中間マラソンで一生涯懸命練習をしていました。また、家で走るなど自主練習をしていた子どももいました。すごいです。結果だけでなく、プロセスが大事ですね。

また、当日は、保護者の皆さんや地域の皆さん(日原保育園の皆さんも)にたくさん来ていただき、ご声援いただきましたので、子どもたちも大変励みになりました。本当にありがとうございました。



今年も、日原地区更生保護女性会よりご寄付をいただきました

先日、会長の中岡 豊美様、事務局の中村真寿美様が学校に来てくださり、ご寄付をいただきました。このご寄付で、学習のための本や、心を豊かに育てるための本を購入させていただきます。ありがとうございました。

田原 弘志先生のご紹介

事務職員の有村先生が1月初旬の出産にむけて産前休暇に入っています。その関係で田原 弘志先生に来ていただいています。田原先生は、ベテランの方です。また、とってもやさしい方で、子ども達にもやさしく接してくださっています。保護者の皆様、地域の皆様、よろしく願いいたします。

山見先生 ありがとうございます。

桑原養護教諭の産休・育休代替として、昨年7月から日原小学校でお勤めいただいている山見先生が1月の桑原先生の復帰に伴い、12月いっぱいでお別れすることになりました。

山見先生は、以前日原中学校でも勤務されておられたので、保護者の皆さんの中には中学校時代にお世話になった方もおられたかと思います。とっても子ども達のことを考え、温かく接してくださいました。(保護者の皆さんや地域の皆さん、職員にも)お別れは寂しいですが、いつまでもお元気で過ごしていただきたいと思います。

【地域の皆様へ(お知らせお願い)】

年賀状による年始のご挨拶を控えさせていただきます。
今年も日原小学校の教育に対しまして、温かいご支援をいただきありがとうございました。特に今年は、安心・安全な中で「学びを止めない」を掲げていましたので、昨年度以上に地域の皆様と一緒に活動を行いました。本当にありがとうございました。
今後とも本校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

日原小学校 学校だより 11月号

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇気玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)



令和4年11月28日発行
文責 松本 徹

学習発表会特集

11月19日に日原小学校学習発表会を行いました。

今年度もコロナ禍の関係で、保護者・ご家族の皆様へのご案内のみになりました。本来なら、日原小学校の教育活動にご協力いただいています多くの地域の皆様方にもご案内をしたかったのですが、申し訳ございません。

しかし当日は、ご家族そろってご観覧いただき、200人以上の方のご来場がありました。ありがとうございました。

1年生

やさいをたべて
げんきもりもり!

「こんなに大きな声で堂々と発表できるんだ。」と感じられた方が多かったのではないのでしょうか。元気いっぱいの演技でした。



2年生

お手紙
～かたつむりくんを
応援するぞ～

国語の「お手紙」をもとに、2年生で学習した九九や縄跳びなどを取り入れた、こどもたちの「素敵」が一杯の劇でした。



3年生

プロジェクト ミックス
～9人の挑戦者たち～

地域の良さを見つける学習をいっぱいしてきた3年生。自分たちで台本も作りました。私は「ポニョのシーン」が大好きです。



あおぞら・ひだまり

あおまりだよ!全員集合!!
GOレンジャー

5人?のレンジャーが登場!4人のレンジャーが今まで
の学習を発表しました。赤レンジャーは大きかったな。



4年生

わたしたちの
くらしと水

「水」学習の中から生まれた、多くの疑問を解決してきた4年生。私も「あらためて水の大切さを感じ、考え、行動しよう」と思いました。



5年生

林業の大切さを伝えよう
～やみから森の精を救え～

今年度から日原小学校は「緑の少年団」に入会しました。募金活動では(14,833円)も集まりました。ありがとうございました。



6年生

ないのならば

自分たちが日原のためにできることとして行った「おまつり」、この経験はこれからもずっと子どもたちの心に残るでしょう。そして・・・。



日原小学校の学校教育目標は「主体的に学び行動する」です。そして、今求められている児童の資質・能力を育むために大切なことが「探求」です。今年の学習発表会には子どもたちが主体的に考え行動した学びの姿が表れていました。発表に向けての練習も、子どもたちが主体的に考える姿が見られました。

子どもたちが、学びを発展させ課題解決に向かって取り組むことはとても大切です。そして、その探求的な学習には、地域と連携・協働した取り組みが必要です。

今後も関わってくださるすべての方がWINになれるよう考え、保護者・地域の方々と一緒に関わっていけたらと思います。今後とも、よろしく願いいたします。

日原小学校 学校だより 10月号

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇気玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)



令和4年10月26日発行
文責 松本 徹

学校給食用米贈呈式がありました。 (わくわくつわの協同組合からのお米贈呈です。)

10月17日に木部の「おくがの村ライスセンター」で学校給食用米贈呈式が開催され、飯田PTA会長さんと一緒に参加してきました。

岩本教育長さん、県の方、JAの方など多くの方が参加されました。

(写真の子どもは木部小学校の全校児童です。)

(津和野小児童によるビデオメッセージもありました。)

※来年の贈呈式では、日原小学校からも感謝の気持ちを伝えたいと思いました。



104袋(1袋・・・30Kg)のお米をいただいています。このお米の量は、なんと1年間の津和野町内のすべての小中学校給食で使用される学校給食米の半分に当たる量です。

【わくわくつわの協同組合とは】

平成22年1月に津和野町内の農業組合法人が集まり結成した共同組合です。「役に立つが、邪魔にならない組織」をモットーに、農業機械の共同利用による効率化や、転作作物の振興で活性化を図っていくなど、個々の組織では取組が困難な事業を実施することを目的に設立されています。現在は13の法人からなり、ヘリコプターによる防除や、飼料用稲の収穫作業の受託を行っておられます。

★日原小学校区では「つつみだファーム」がわくわくつわの協同組合に入っています。

(贈呈式には、原田 文雄様、中島 守様も参加されました。)

近年では、農業担い手の減少に歯止めをかけるため、新たな人材確保の取組としてUIターンの定住者の受け入れを積極的に行っているほか、木部地区において燃料供給施設を運営しているなど、営農活動のみでなく地域活性化の取組もされています。

【生産者の方の想い】

津和野町では、年々人口が減少しており、以前に比べ子ども達も少なくなってきました。高校を卒業してからは進学や就職のため、町外に出て行く人も多いためです。

これから巣立っていく子ども達に農業の大切さを、津和野の米を通じて知ってもらおうとともに「ふるさとの味」として覚えて欲しい。辛い時、苦しい時はその味を思い出して津和野に帰ってきて欲しい。その想いから町内全ての農業組合法人から米を出し合い、町内の子ども達に対して米104袋を無償提供することとなりました。

学びの様子(多くの体験活動を行っています。)

各学級で多くの体験活動を行っています。日原小学校では、地域の皆さんなど、多くの方々とかわり・学ぶ学習(活動)を大切にしています。

9月後半からも紹介しきれないほどたくさんのお体験学習・活動を行いました。



学習発表会の観覧について

11月19日に日原小学校では、学習発表会を行います。本来なら、地域の皆様にもお越しいただき、子ども達の発表を見ていただきたいです。しかし、コロナ禍の現状から残念ながら今年も地域の皆様へのご案内はいたしていません。申し訳ございません。

しかし、ご家族の皆様には、人数制限をいたしません。運動会には、200人以上のご来場がありました。学習発表会にも多くのご家族の方に見ていただければと思っております。

ただし、200人が体育館に入りますとかなり密な状態になりますので、1~3年生の発表と4~6年生の発表に分けて、途中で観覧の皆様に入れ替わっていただくようにいたします。

今年は、観覧しやすいように可動椅子を出して行きます。ぜひ、ご家族おそろいでお越しください。地域の皆様には、次回の学校だよりで詳しくご紹介いたします。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇気玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)

令和4年9月26日発行
文責 松本 徹

運動会 よくがんばりました

9月17日、台風14号の心配をしていましたが、最近になく涼しい日となり(熱中症の心配もあまりなく)運動会を実施することができました。

今年の運動会もコロナ禍のために来賓の皆さん、地域の皆さんへのご来場のお声掛けはできませんでした。しかし、保護者・ご家族の皆様にはできるだけたくさんの方に「見ていただきたい」「子どもたちのがんばりに言葉かけをしていただきたい。」という思いでした。

※保護者・ご家族の皆さんのご来場数は約250人でした。

(多くのご来場ありがとうございました。)

開会式 ラジオ体操



誓いの言葉：赤組・白組の色長による選手宣誓と児童代表あいさつです。3人とも一生懸命さが伝わってきました。

ラジオ体操：低学年も上手でした。夏休みのラジオ体操の成果もあるのかな。



赤組「炎のように闘志を燃やせ！」
白組「仲間と協力し、あきらめず全力でやりきろう！」毎年5年生が色組のスローガンを描いています。今年も立派なスローガンを完成させました。

低・中・高 の個人種目

1・2年生と3・4年生は、セバレートのコースで徒競走を行いました。休み時間に何度も練習している児童もいました。競技が終わった後に、その子に話しかけました。「1位になってとってもうれしいです。」

5・6年生は「かしてください♥」(借り物競走)です。楽しそうに競技をしていました。



6年生 親子ふれあい種目

競技中も入退場もご家族(父・母・兄・姉等)で手をつないで行いました。(肩を組んでおられるご家族も)とっても微笑ましかったです。今年はコロナ禍で6年生のみ親子種目を行いました。大きく成長したお子さんと楽しく競技を行っていました。



低・中・高 団体種目

3・4年生の団体種目には、元校長の富田先生にも参加していただきました。



応援合戦

白組も赤組も、6年生のリーダーシップのもとよくがんばりました。応援合戦により、全校のモチベーションも上がりました。「僕、応援合戦をしたらやる気が出た。」(1年生の声)



1～3年生リレー 4～6年生リレー (自熱した戦いでした。)



閉会式 (児童代表あいさつ)



学校のリーダーとして、たくましく成長した6年生！
これからも、6年生を中心に「安心・安全 楽しい学校」にしていきましょう。

保護者の皆様、片付けについてもたくさん手伝っていただき、ありがとうございました。

日原小学校 学校だより 9月号

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇気玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)

令和4年9月13日発行
文責 松本 徹

2学期もよろしくお願いいたします。

8月26日に2学期の始業式を行いました。始業式の私の話の中で、夏休み中の日原小の子どもたちのことで、うれしかった3つのことについて話をしました。一部ご紹介いたします。

1つ目は、夏休み中も「おはようございます。」「こんにちは」「さようなら」と気持ちのよい挨拶をしてくれたことです。気持ちの良い挨拶をしてくれると、校長先生も元気になります。うれしかったです。

2つ目は、あゆっこワクワク広場に参加して、学校の前の高津川で泳いだり飛び込みをしたりしたことです。川船に乗ったり、ウナギつかみもさせていただいたりしました。日原には素晴らしい自然がたくさんあるなって、改めて思いました。



3つ目は、休み中に学校に来ていた子どもたちが、校庭の草抜きをしてくれたことです。みんなで大きな袋2つ分の草を抜いてくれました。暑い中大変だったと思いますが、特に進んでたくさん草抜きをしてくれた6年生の2人は、達成感を持てたと思います。草抜きをしてくれたみなさん、ありがとうございます。

今日は、「あいさつについて」「日原の豊かな自然について」そして「進んで取り組む心」について話しました。

2学期もみんなで「安心・安全・楽しい学校」にしていきましょう。そして、「がまん玉」「勇気玉」「思いやり玉」の3つの玉を大きくしていきましょう。

そして、うれしかったことがありました。2年生教室に行った時のことです。ある子が、「〇〇さんたちが休み時間に草抜きをしたんですよ。」と教えてくれました。どうも、多くの子が進んで学級園の草抜きをしたようです。そして、担任の山崎先生に抜いた草が入っている袋を見せてもらいました。

他にもあります。私や山田さんが校庭の草を抜いていたら、「僕もします。」「私もします。」といろいろな学年の子どもたちが、進んで草抜きを手伝ってくれています。

「進んで取り組む心」(主体的に行動)が育っていて嬉しいです。



6年生を中心に運動会に向けて頑張っています。

9月17日(土)に日原小学校の運動会を開催します。今、子どもたちは運動会に向けて頑張っています。本来なら、保護者・ご家族の皆様だけでなく、多くの地域の皆様にも子どもたちのがんばる姿を見ていただきたいのですが、現在のコロナ禍の状況を鑑みまして、来賓・地域の皆様方へのご招待は見送りました。ご理解のほどお願いいたします。ただし、ご家族の方の人数制限は致しませんので、ご家族おそろいでお越しください。

なお、運動会終了後には地域の方々にも運動会の様子を知っていただけるよう次回の学校だよりで詳しく紹介いたします。



「アルミ缶回収」ありがとうございます。

日原小学校PTAではアルミ缶回収を行っており、保護者の皆様、地域の皆様のご協力により多くのアルミ缶が集まっています。そして、その収益金は子どもたちのために使わせていただいています。

今年度も、サッカーゴールネットやジュニア用ピンス10着×4色などを購入させていただいております。ありがとうございます。

今後もアルミ缶回収に、ご協力をお願いいたします。

※アルミ缶ですが、いつ持ってきていただいても大丈夫です。(休みの日も)

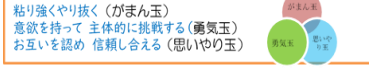
※アルミ缶はつぶさないで、中を水洗いして乾かして出してください。(お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。)

令和4年度 日原小学校PTA統一テーマ
「親子で取り組むSDGs」



アルミ缶回収場所

日原小の子



令和4年7月20日発行
文責 松本 徹

夏休みが始まります。(7月21日~8月25日)

7/20(水)が日原小学校1学期の終業式でした。これから36日間の夏休みが始まります。本日の終業式で1学期の成長(主体的に行動・3つの玉)の話や下記のような夏休みの過ごし方についての話を子どもたちにしました。一部ご紹介いたします。

規則正しい生活習慣を続けよう。特にゲームやメディアと正しくつきあって

M家のルール(N小学校6年生の子どもがいます)

- ①「ゲーム」や「釣りなどのお楽しみユーチューブ(動画)」は、合わせて1日平均1時間以内
- ②決まったお手伝い(火・金の風呂掃除)以外にもお手伝いをする。
「お父さんと一緒に庭をきれいにしよう!プロジェクト」・・・木の剪定、草抜き、魚ハウスの整理など
- ③1日90分は学習をする。(基本:午前中)
- ④野球をがんばる。(自主トレ:ピッチングフォーム練習、素振り、的あてなど)
- ⑤もちろん、基本的な生活習慣を守る。(普段より少し緩めるよ)
- ⑥後は、自分で考えて!
おとうさんからのプレゼント・・・1泊2日の釣りキャンプをする。何回か釣りに行く。
※ 野球や勉強など、時々は一緒にするよ。

※ご家庭で夏休みの生活についてのルールを作ってください。

「マス計算大会」で私を超えました!

マス計算大会は25マスの計算を「何秒でできるか」「何点取れるか」を自分の成長のため、仲間との高め合いの為に毎月1回全校で行っています。

☆1・2年生は「たし算・ひき算」(1年生は未学習なので算数で学習してからスタートします。)

☆3年生は「かけ算」です。 ☆4年生~6年生は「わり算」です。

計算が速いとこれからの人生で多くのプラスがあります。

※中学や高校の学習だけでなく、大人になっても自分の長所となります。

ちなみに私は「+・-・×」が16~19秒くらい、「÷」が50秒台です。

このマス計算は、「自主的に行動する」という学校目標にも関係しています。自主的に取り組む児童も増えてきており、**先日は4年生の児童がわり算で1分を切りました。(最初は5分以上かかっていました。)**中学校や高校は学習することが多くなります。計算力を高めたり基本の知識を蓄えられたりするのは小学校のうちだと思います。そして、脳も鍛えられますし、3つの玉も成長します。

保護者のみなさんも取り組んでみませんか。(プリントは子どもたちにもらってください。)

各学級に自由に持って帰ることができるプリントが置いてあります。

「保護者・地域協力隊」のみなさん ありがとうございます。



日原:花いっぱい活動

1年生は、中村さんをはじめ地域の皆さんが来てくださり、マリーゴールドを植えました。子どもたちも地域の方も笑顔いっぱいの活動になりました。

雄滝・雌滝に行きました。

3年生は、村上 守さんや枕瀬・滝本公民館や地域の方々と一緒にきました。村上さんのツリーハウスにも寄らせてもらい、水遊びもしました。「参加された方が元気をもらいました。」と言ってくださってうれしかったです。

鮎も食べました:高津川学習

3年生は、コアラッチの学園さんのご協力をいただき高津川学習をしました。鮎について多くの学びがありました。

子ども達はもちろん!参加された方々も「元気をもらいました。」「楽しかった。」「と言って下さいました。」「私もうれしいです。」「



あゆっこワクワク広場

毎週月曜日と水曜日の放課後に行っています。主に1~3年生の希望者が参加しています。

6月には、町民プールの近くの花壇に花を植えました。夏休みにも水やりをする予定です。

あゆっこワクワクでは、楽しい事だけでなく、ボランティア活動も行っています。小学校低学年のうちからボランティア活動に参加することはとても良いことだと思います。参加したみなさん。素晴らしいです。

夏休み中の勤務について

夏休み中には、お盆の学校閉庁をはじめ、普段とは違うことがいくつかありますのでお知らせいたします。

① 8月10日から8月16日までは、学校閉庁日です。(津和野町教育委員会)

この間の連絡につきましては、教育委員会にお願いします。

【津和野町教育委員会:電話番号 0856-72-1854】

② 普段の勤務時間は8時から16時30分ですが、長期休業中は、働き方改革やコロナ感染拡大防止対策の一つとして「フレキシブルタイム」での勤務になります。(自分のライフスタイルに合わせて勤務始めや終わりの時間を変えられます。)なお、日直の職員は8時から16時30分の間には学校にいます。

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
 意欲を持って主体的に挑戦する(勇氣玉)
 お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)

令和4年6月28日発行
 文責 松本 徹

朝のあいさつについて

6月22日の全校朝礼はコロナ感染防止対策を考え、校内放送を用いて、子どもたちは各教室で話を聞きました。今回は放送の利点を生かしてアンケート用紙に記入しながら話を聞いてもらいました。各教室で今の自分や友だちの朝のあいさつについて振り返りました。そこで、その結果をまとめましたのでお知らせします。

【朝(登校)のあいさつについてのアンケート結果】

1. 今の自分をふりかえろう 肯定的評価(とてもよい・よい)の割合

質問NO.	ないよう	6月 全校
1	相手がうれしくなるような気持ちの良いあいさつをしている。	57.3
2	相手に伝わる声の大きさをあいさつをしている。	64.0
3	あいての顔を見てあいさつをしている。	65.3
4	あいさつの時には、えしやくをしている。	40.0
5	先生や見守り隊の方、お家の方、地域の方など、出会った人にはだれにでもあいさつをしている。	57.3
6	自分から先にあいさつをしている。	57.3
7	遠くから(20mくらいはなれていても)でも、あいさつをしている。	36.0
8	同じ登校班の人にあいさつをしている。(集まる場所などで)	30.7
9	ちがう登校班に出会ったときにあいさつをしている。	25.3
10	「よいあいさつをすることは、自分も相手も気持ちがいい」という思いを持っていますか。	69.3
小計		50.3

上記の10の質問を行っています。ここには、どんなあいさつをしてほしいのかというメッセージが込められています。

また、自分(自分たち)のあいさつは何点になるか、考えてもらいました。

1. 自分のあいさつは何点? 全校平均 点
 (登校班長や5・6年生に聞いています。)
2. 自分の登校班のあいさつは何点? 登校班長や5・6年生の平均 点
 ①自分の登校班のあいさつをどう思いますか。 肯定的評価 43.3%
 ②班長や高学年として、良いお手本となっていますか。 肯定的評価 30.0%
3. 日原小学校の朝(登校)のあいさつは、何点? 全校平均 点

さあ、子どもたちはこの結果をどう受け止めるのでしょうか。このあいさつについては学校でもベクトルをそろえ、学校全体で、学級で取り組んでいこうと思います。

また、このアンケートは2学期にもう一度しようと考えています。それまでに自分の力を伸ばして欲しいと思います。

さて、朝のあいさつもそうですが、子どもたちが成長していくためには、3つのことが必要だと考えます。この3つがそろったとき、大きな成果をもたらします。

成長するために大切なこと

自分の力

一人ひとりのやる気
 そして、
 3つの玉が大切

友だちの力

全体のムードや
 風土が大切
 みんなの心が一つに

まわりの力

学校・保護者・地域
 同じベクトルで
 温かい(時には厳しい)言葉かけ

「保護者・地域協力隊」ありがとうございます。

6月に入り、保護者・地域協力隊の多くの皆様と一緒に教育活動を進めています。一部ですがご紹介いたします。



6月9日から、「読み語り」が始まりました。保護者の方や地域の方がたくさん来てくださいます。

6月から「あゆっこワックラ広場」がスタートしました。今年から「大浴さん」が中心となって広場のお世話をさせていただきます。



あおぞら・ひだまり学級は、シルバー人材センターの岩本さんたちと一緒にさつま芋を植えました。

生活健康委員会の子ども達が、齋藤 彩さん、清水留美子さんたちと一緒に人権の花を植えました。



地域の多くの方々が生業に入って、救ってくださっています。

保護者・地域 協力隊

“対話”を大切にしています。

日原小学校 学校だより 5月号②

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇気玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)

令和4年5月24日発行
文責 松本 徹

津和野町小体連 陸上大会

5月11日には、津和野町小体連陸上大会が津和野小学校を会場に行われ、本校からも5・6年生が出場しました。

今年度は、学びをつなげる(点から線に)を大切にしています。すなわち、体育の時間の単発な練習だけではなく、主体的に自分で練習できるような意欲付けを行いました。休み時間や休みの日に主体的に練習する児童も見られました。

また、小中連携で日原中学校の校庭で練習をしたり、日原中学校の藤井先生(2m19cmの自己記録を持っておられる方で、指導者としても島根の陸上の第1人者です)に高跳びの指導をしていただいたりしました。当日は、一人ひとりが自分の力を出そうと一生懸命競技に臨んだり、友達を応援したりしました。また、他校の友達とかかわる姿が見られたことも良かったです。

陸上大会の成績

5年女子100m優勝	石川 心音	16"2
5年男子100m優勝	飯田琉太郎	15"6 (大会新)
6年女子走高跳 優勝	村上 千夏	1m09
6年男子走高跳 優勝	中島 謙	1m28 (津和野町になってからの大会新)
6年男子走幅跳 優勝	坂崎 怜和	3m73 (大会新)

※1位～3位の入賞者数・・・のべ20人

R3年度島根県陸上記録集で調べてみますと、優勝者の他にも昨年度の島根県ランキングで20番以内に相当する記録を出しています。

中島 謙さんの記録は県ランキング2位に相当します。1位の記録(1m30)はスパイクをはいて競技場です出した記録なので、同じ条件ならその記録を超えると思われる素晴らしい記録でした。

自分の力が出せた児童、残念ながら出せなかった児童と様々ですが、「うれしい・くやしい」など心が大きく動くことが最も大切だと思っています。

そして、点から線に

5月16日に5・6年生が集まって表彰をしました。その際、「10月下旬に西中国陸上競技大会があります。目標に向けて努力を続けると大きな成長につながります。」といった話をしました。すると早速「何日ですか?」と意欲を見せる児童がいました。また、6年生の中島 丞さんは、「ぼくは中学校に入ったら陸上部に入るから、西中国陸上大会に出たいです。」と言いに来てくれました。この「意欲・主体性」が日原小学校の教育ビジョンにつながるものです。うれしいです。



新しく「日原小花ボランティア」の会が発足

4月のある日、津和野町教育委員の村上 守さんと奥様の裕子さんが校長室に来てくださいました。私は、日原は地域の協力が得られる町だと、前から思っていました。その時に確信しました。

そこで、様々な“対話”を通して村上 裕子さんのつながりの輪から「日原小花ボランティアの会」が発足しました。日原小は学校校務員の山田さんが花いっぱい学校にしてくださっていましたが、このお花ボランティア活動と合わさったことでおそらく県でもトップクラスの花のある学校になってきました。花は、人の心を優しく・温かくしてくれると私は思います。花いっぱいの環境の中で子どもたちは、すくすくと成長していきます。



見守り隊

見守り隊の方にもお世話になっています。先日は、見守り隊の方々“対話”をしました。その中で、コロナ禍の弊害によって、子どもたちの「あいさつ」への意識が弱まっているという話題にもなりました。見守り隊の方は、とっっても元気にあいさつをしてくださっています。子どもたちのあいさつが今より明るく・元気になることは、地域の方々にも元気も与えてくれます。学校でも取り組んでまいります。保護者の皆さんも今一度、子どもたちのあいさつがよくなるように言葉かけをお願いします。



掲示について

もうすぐ(6月9日から)地域の方による読み語りも再開いたします。今、校長室の前には、「保護者・地域 協力隊」の掲示を始めました。早速、子ども達は「僕のおばあちゃん」「このおじちゃん 知っている。」など私にも話しかけてきています。学校にご来校の際は、こちらをご覧ください。

いつでもお越しください

今までに、地域の方が何名か校長室に来てくださっています。「今日、とってもいい映画を観てきたのですが、・・・」と地域にお住まいの方が校長室を訪ねてきてくださいました。また、読み語りで今度来てくださる河村さんも来てくださり、戦争体験の話などを聞かせていただきました。

私は、様々な方々との“対話”の中に「教育の大きなチャンス」があると思っています。どうぞ、気軽にお越しください。

お知らせ つわのスクール NET をご覧ください。

つわのスクール NET には、町内小中学校の様々な情報が掲載されています。

- ・ 学校要覧
- ・ 学校だより(過去のもの)
- ・ 主要行事予定表
- ・ 月別行事予定表
- ・ 放課後児童クラブについて
- ・ いじめ防止基本方針
- ・ 給食献立表
- ・ など(他にもあります)

「日原小学校教育目標(日原小学校要覧)についても掲載しています。」

☆【津和野スクールネット】で検索すると見つかります。

日原小の子

粘り強くやり抜く(がまん玉)
意欲を持って主体的に挑戦する(勇気玉)
お互いを認め 信頼し合える(思いやり玉)

令和4年5月24日発行
文責 松本 徹

「学びを止めない」～コロナ対策を十分に～

コロナ感染拡大防止のために、全国小中学校が一斉休校になったのが2020年の3月～5月でした。その日から、もう2年が過ぎました。全国の学校が感染拡大防止によって、行事や校内・校外の学習に制限がかかるなど様々な学びが止められてきました。

私は、この2年間で子どもたちが少しずつ変わってきたと思っています。全員ではありませんが、コミュニケーション力(あいさつや表現力など)の低下、メディアとの接触時間が多くなり、生活習慣が乱れている子どもの増加などが見られます。

そこで、今年度は「学びを止めない」をスローガンに掲げ、コロナ対策を十分に「安心・安全 楽しい学校」になるよう、学校経営ビジョンを立ててまいります。

また、その際に大きな力となるのが「コミュニティスクール」です。こちらについては右記をご覧ください。

「上履き」について ～安全に運動できるように～

PTA総会で、「上履き」のことが話題になりました。ご質問をいただいた保護者さんありがとうございます。私も、陸上練習を見ている時に何人かの児童が履いている上履きが少し気になっていました。(バレー型の上履きは、滑りやすくクッション性も低いものもあるので)

※バレー型の中にも滑りにくくクッション性が高いものもあります。
※しかし、「脱ぎ履きが簡単である。」「蒸れにくい。」などの良い点もあります。

そこで、上履きについてご説明いたします。

○体育館シューズのようなクッション性のある「上履き」を履いてもいいです。
(もちろん、今までのバレー型の上履きも認めます。) ※両方利点があります。

【注意すること】

小学校では、体育館で運動をする時に、体育館で体育館シューズに履き替えることはしません。ですから、学校生活ですっと履くこととなります。[校舎内でも]

そこで、注意したいのが、トイレや昇降口で履き替える時のことです。履き替えに時間がかかると様々な支障が出てきます。

※小学生用に売られているものは、上部にマジックバンドがついているなど脱ぎ履きしやすいものも多くあります。



【色は白地でお願いします。】

※華美にならない程度、ラインに色がついているものは良いです。

指定の物はありません。

今は、チャンスの時 ～コミュニティスクール始動～

津和野町では、今年度から町内全ての小中学校で「コミュニティスクール」が始まります。

コミュニティスクールとは、簡単に言いますと「学校が保護者・地域の皆さんと目標やビジョンを共有し、保護者・地域と一体となって子ども達を育む『地域とともにある学校づくり』を行っていく」ことです。

しまね教育魅力化ビジョンより
基本理念 **ふるさとを学びの原点に 未来にはばたく 心豊かな人づくり**

中学校・高校と
これからの学び

学習指導要領の「**社会に開かれた教育課程**」と津和野町の「**0歳児からの人づくり事業**」はまさにつながっていると思います。
～より良い学校教育を通してよりよい社会を創る～

子どもたちの成長

私たち学校は、学校にいる時だけきちんとできる子どもを育てるのではありません。学校でも家庭でも地域でも楽しく・子どもらしく生活できる・学べる子どもを育てたいと考えています。

学校教育の連携した取り組み

「地域の行事」「家庭のごと」にも主体的に参加・取り組む子ども

同じベクトルで子どもたちとかわる(支援・援助等)

地域での学び

- 例えば
- ・公民館活動
- ・児童クラブ
- ・あゆっこわくわく広場
- ・多くの協力隊の方々
- ・スポーツ少年団活動
- ・習い事(神楽なども)
- ・子ども会
- ・自治会行事
- などなど

津和野町は充実しています
日常の地域の方とのふれあいも大切な学びの場です

学校での学び

教育課程

- 左に掲載の方々
- 見守り隊
- 読み語り
- クラブ講師
- 授業講師
- などなど
- 保小連携
- 小中連携
- 保護者連携
- 地域連携
- などなど

家庭での学び

- 例えば
- ・生活習慣
- ・家庭の約束(学習・メディアなど)
- ・お手伝い(自分の仕事)
- ・家族とのふれあい
- ・家族との会話
- ・家庭での地域行事など様々な取組やイベントへの参加

毎日の生活そのものが大切な学びの場です

しっかりと「つながり・かわる」(情報の共有)

学校教育目標や学校経営ビジョンの共有(対話を大切に)

実態や願いを反映させることが大切だと考えます

日原小の子

学校教育目標に向けて同じベクトルで

私が理想とする学校は、安全・安心「**楽しい学校**」です。

そのために大切にしていることが、児童を中心に保護者・地域・職員が「**ONE TEAM**」となつて**学校目標に向けて同じベクトル**で取り組んでいくことです。



学校の教育目標が広く保護者・地域の方に浸透し、同じ思いを持って（同じベクトルで）子どもたちに接すれば、より大きな力となって子どもたちの成長を促します。

「主体的に行動する」という学校教育目標を掲げている本校は、子どもたちが主体的に考え行動する場の設定を大切にしたいと思っています。もちろん、一つ一つ指示を出しながら、子どもたちに身につけさせることもありますが、

もし、保護者の方、地域の方が同じように「子どもたちに主体的に行動させる」という思いを持ってかかわることができればどうでしょう。

よく、一般的に「指示待ちの子どもたち」と言われることがあります。それは、子どもたちが悪いのでしょうか？私は、周りの人が、教えすぎているからかもしれないと考えます。子どもたちが早くうまくできるように、失敗しないようにと、段取りよく教えることばかりをしていると、1つの事が終わった後、次の指示を待つようになっていくと思います。

そこで、保護者の皆さんも地域の方々も、今までより少しだけ、子どもたちが主体的に行動できるようなかかわり方をしていきませんか。多くの方が同じ思いを持って関われば、子どもたちは大きく成長すると思います。

粘り強くやり抜く（がまん玉）
 意欲を持って 主体的に挑戦する（勇気玉）
 お互いを認め 信頼し合える（思いやり玉）



3つの玉についても、ぜひ心の片隅に置き、少し意識して子どもたちに関わっていただけませんか。よろしくお願ひいたします。

未来に向かって主体的に学び行動する児童の育成

主体的に行動する

かしこい子（学力）

仲間とともに
わかった！できた！

社会性

やさしい子
（感じる心・関わる力）

たくましい子
（耐力・体力）

めざす児童像の基盤（土台）にあるもの

3つの玉

がまん玉

あきらめずに
やりぬこう！

負けないで
やってみよう！

勇気玉

自分が好き！

日原が好き！

わたしに
まかせて！

自分の気持ちを
伝えよう！

思いやり玉

まわりの人を
大切に！

仲間を信じよう

安心・安全 楽しい学校

日原小学校 学校だより

4月号

令和4年4月15日発行

文責 松本 徹

日原小の子

日原小学校 教育ビジョン

保護者の皆様、地域の皆様、令和4年度もよろしくお願いいたします。さて、年度の始めです。学校で大事にしている「3つの玉」について、ご紹介いたします。日原小学校では、「がまん玉」「勇氣玉」「思いやり玉」の「3つの玉を大きくしていく」ということを土台に、学校教育目標である「**未来に向かって主体的に学び行動する児童の育成**」を目指してまいります。詳しくは次回の学校だよりで「私の思い」と合わせ、詳しくご説明いたします。

さて、近年はコロナ禍ということで「学校」「家庭」「地域」が連携した活動も見送ることが多くなっています。しかし、「学びを止めない」をモットーに、感染対策をきちんととり、できることから取り組んでいきたいと思っております。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

ご入学おめでとうございます

4月11日に、入学式を行い、9人の1年生を迎えました。今年も町教育委員会と相談のうえ、来賓の方々に来ていただくことはできませんでしたが、村上 守 教育委員 様に告辞をしていただきました。また、在校生も5・6年生のみの参加となりましたが、5・6年生は立派な態度で温かく1年生を迎えました。歓迎の言葉は、6年生の坂崎 怜和さんが、堂々と心を込めて話しました。1年生の9人も私の方をきちんと見て話を聞いて立派でした。私からは、「3つの玉」についての話をしました。9年間の義務教育がはじまりましたが、子どもたちが笑顔で楽しく学校に通えるように取り組んでまいります。



職員の紹介

令和4年度の日原小学校は、新たにひだまり学級が開設され「8学級」となりました。また、職員は4名の異動があり、「山崎先生(柿木小より)」「大場先生(吉田小より)」「松元先生(西益田小より)」、そして、私(松本)の4人が日原小に赴任してまいりました。

さて、コロナ禍により、マスクをつけていたり、保護者・地域の方々との交流学習も減っていたりしていますので、職員の顔と名前をあらためて憶えていただきたく、始業式の日に写真を撮りました。ぜひご覧ください。

まずは、職員・保護者・地域の方々とのつながりや関わりを広く・深くし、一緒に子どもたちの成長を支えていければと思います。皆様、よろしくお願いいたします。



6年担任 橋 浩明	栄養教諭 田原きらら	教科担当 右田 裕子	養護 山見 朝恵	ひだまり学級担任 名田 恵子	
学校校務員 山田 明美	事務 有村 幸子	4年担任 佐々木しのぶ	2年担任 山崎 明子	にこにこサポート 松元 文子	学校図書館司書 木村 奈穂
3年担任 今谷 和子	1年担任 並河 志帆	教頭 名目良明利	校長 松本 徹	あおぞら担任 福原 康子	5年担任 大場由紀子

この他にも、学習支援員の「藤井 寛巳」「草田比呂子」「松本 祐子」がおります。また、6人の調理員の方々、SC,ALT,教育魅力化コーディネーターなど多くの方々と共に「チーム日原小」で取り組んでまいります。

「私のこと 知ってください。」 ～校長 自己紹介～

名前は、松本 徹です。昭和42年4月20日生まれで、もうすぐ55歳です。益田市安富町に妻(津和野中学校勤務)と高校2年生、小学6年生の4人で生活しています。子どもはもう1人いて、現在大学2回生です。(南の島にいます。)

平成3年に教員になって「都茂小→蔵木小→安田小→吉田小→六日市小→蔵木小→高津小→柿木小(教頭)→桂平小(校長)→日原小」と勤務してまいりました。

私は、小学校、中学校、高校、大学と陸上競技(短距離・走幅跳)をしてきました。教員になり益田に戻ってからは、益田市陸上競技協会に所属し、スターターや競技者係などの審判をしてきています。また、益田陸上教室にも長い間、関わって来ました。(管理職になってからは、あまり関わっていませんが)日原小の子ども達との出会いもありました。

趣味は、息子が3人とも野球をしています(3人とも陸上はしてくれませんでした)ので、その観戦と釣りです。釣りは、海も川もします。溪流釣りは匹見川が中心ですが、日原でもすることがあります。(鮎はしていませんが)私のモットーの「明るく」「パワフルに」「温かく」は、日原小でも勤務された「三上校長先生」から、私が校長になった時にいただいた言葉です。このことを胸に刻み、学校運営を行っていきます。

皆様、よろしくお願いいたします。

日原小の子

令和3年度

未来に向かって主体的に学び行動する児童の育成
～かしこい子・やさしい子・たくましい子～

日原小学校だより 11号

ふるさとをよくなるために ～かしこい子～

日原小学校では毎年、6年生の総合的な学習で「ふるさとをもっとよくなるためには、どうしたらいいのか」というテーマの学習に取り組んでいます。

今年の6年生は、まず俊場の各課に、自分たちの得意なことをまとめたデータと一緒に「自分たちにお手伝いできることはありませんか。」というアンケートを送りました。

かえってきた回答の中から、商工観光課の「日原地区のおすすめの観光コースを考えてほしい。」というお願いをテーマとして選び、取り組んでいきました。最終的にはおすすめ観光スポットとそこを結ぶサイクリングコース4パターン考え、グループごとにそれぞれのスポットの良さなどについてまとめプレゼンを作りました。

「自然と歴史をのぞいてみようコース」日原駅→鳥根で一番大きな木→カントリーパーク→道の駅→日原歴史民俗資料館→日原駅

「自然とふれあおうコース①②③」日原駅→汗かき地蔵→(日原天文台)→左鍬(宿泊)→日原駅
「ゆっくりコース」日原駅→枕瀬キャンプ場→日原にぎわい拠点 かわべ→日原駅

「滝観光コース」日原駅→雄滝・雌滝→日原民俗資料館→日原にぎわい拠点かわべ→春日神社→日原駅
そして、2月2日の議会学習のときに、町会議員さんの前でプレゼンテーションを行いました。また、プレゼンテーションの後には、グループごとに議員さんに入っていたいただき話し合いをしました。提案をほめていただいたり、アドバイスをいただいたりしたことで、子ども達は充実感や満足感を感じていたようです。

また、今回の提案は、限りなく実現可能な提案でしたのでぜひ実現してほしいと思っています。子ども達の提案を受けて、日原駅に貸し出し用の電動アシスト自転車がおかれ、観光客がおすすめのサイクリングコースに挑戦し、日原の観光スポットに訪れてくれるといいなと思っています。



小さな親切… ～やさしい子～

昔、「小さな親切、大きなお世話。」というフレーズが流行ったことがありますが、とんでもないと思っていました。「小さな親切」こそ、学校にとってはとても大切なものです。

たくさんの「小さな親切」が集まることによって、仲の良い学級や、居心地の良い学校になると思っています。最近その「小さな親切」をいくつか見つけてうれしく思いました。

一つ目は登校の時のできごとです。体調が完全ではない1年生が、歩き疲れて動かなくなってしまうということが起こったそうです。そんな時、班のみんなには先に行ってもらい、6年生が励ましながらゆっくりと連れてきてくれました。ぐずっていた1年生も、6年生が待っていてくれたので、学校まで歩いてくることができました。

二つ目は、休み時間のことです。ある男の子がスヌーピーの絵をかいていました。それを見た女の子が思わず「かわいい。」と声をあげると、「これあげる。」と男の子。女の子は「うれしい。ありがとう。ほんとうにかわいい。」と喜んでいました。見ていてとても微笑ましかったです。

三つ目は下校の時のことです。二人の男の子が職員室をのぞいて「バスに遅れました。どうしたらいいですか。」と言ってきました。雪もちらついていたので、事情は後で聞くことにして、とりえず私の車で送っていくことにしました。

車の中で事情を聞いてみると、バス停に向かって急いでいた時に、友達が足洗い場のところで転んだのが見えた。大丈夫なのか心配になったので、友達のところまで行って、声をかけたり助けたりしていたらバスに遅れてしまったということでした。バスに遅れようと友達のことを大切にしている優しい気持ちがあることをとてもうれしく感じました。きっと私の気づいていないところでもたくさんの「ちいさな親切」があるんだろうなと思います。そしてこれからもどんどん増えていってくれるといいなと思います。

大成功の6年生を送る会 ～かしこい子・やさしい子・たくましい子～

終わりの会のあいさつの初めに「6年生楽しかったですか。うれしかったですか。」と聞くと「はい、楽しかったです。」「うれしかったです。」との返事。6年生がとても良い笑顔でこう答えてくれたこの会は大成功の会だったと言えます。私も「素敵なお会だな。」と思いながら見ていました。

前半は、各学年と6年生の思い出作り、6年生に挑戦状を送った学年もありました。1年生は手つなぎおとしつぼ対決、2年生は長縄跳び、4年生は単縄とび対決で挑戦しました。どれも6年生の圧勝になるかと思いましたが、4年生との持久とびでは4年生が勝つという番狂わせもありました。とはいえ勝ちにこだわりすぎるのではなく、勝った方も負けた方も笑顔でした。

3年生は、総合的な学習で調べた日原小の過去のことを問題にした〇×クイズを出題しました。6年生はもとより職員もわからないような問題が出ていましたが、見事に全問正解した6年生もいました。

休憩時間になると、6年生が一斉に体育館の後ろに貼ってあるメッセージのところに走りまわりました。縦割り班の1～5年生が、自分に対して書いてくれたものを見て、とてもうれしそうでした。

後半は縦割り班ごとの活動でした。校舎内を回りながらおなぞに答えたり、班ごとに協力して5年生が考えたミッションにチャレンジしたりしました。今年も縦割りでの活動がなかなかできなかったため、良い機会となりました。

最後に、5年生が映像と音楽で思い出のアルバムを上映しました。6年生が1年生だった時からの写真を流すものでしたが、5年生がチョイスした写真がとても素敵で、全員が食い入るように見つめていたり、見ながら感動して泣きだす6年生がいたりしました。私も素敵な写真だなと思うとともに、小学校の6年間でいかに大きく成長するのかが改めて感じました。4年生の時から毎日見ているので、変化に気づいていませんでしたが、4年生の頃の写真と比べて見てみるとずいぶん成長し大人びてきていたんだと改めて思いました。

本当に和やかで笑顔にあふれた会でしたが、それぞれの学年で少しずつ違っていました。1から4年生は6年生と一緒にできることを楽しんでいる笑顔、6年生はみんなが祝ってくれることへのうれしそうなお笑顔、5年生は自分たちのがんばりでよい会になっていることに対する満足した笑顔のように見えました。

会が終わった後に、見事に全校のリーダーとしての2歩目を大きく踏み出してくれた5年生に、「本当にいい会だった。6年生もとても喜んでると思うし、安心して後を任せることができると感じたと思う。」という言葉とともに、「今日の姿を見て、君たちが最高学年として全校のリーダーとなってくれるのなら、来年も大丈夫だと感じた。」という言葉をおくりました。



入場の際はポーズをつけて



1年生とてつなぎおに



2年生と八の字跳び



4年生となわとび対決



3年生の〇×クイズ



休憩時間にメッセージを…



縦割り班活動



4年生からのプレゼント



嬉しそうなお笑顔で退場

日原小の子

令和3年度

未来に向かって主体的に学び行動する児童の育成
～かしこい子・やさしい子・たくましい子～

日原小学校だより 10号

3学期そして2022年がスタートしました

3学期を直前に控えたときに、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大を始めてしまったので、始業式は放送で行うことになってしまいました。

その時子どもたちに下記のことを話しました。
「新しい年が始まった今はとても大きな節目と言えます。皆さんは日々成長していますが、毎日同じように成長しているわけではありません。節目節目において一気にぐっと大きく成長します。

では、節目とはどんなときかという、自分が目標を定め、それに向かって一生懸命がんばろうとするときが節目なのです。

そういう意味では、新年の決意を持ち、それに向かってがんばろうと考えている今は、全校の皆さんが一斉に節目を迎えているときと言えます。一人一人が大きく成長するためにも、自分で決めた新年の決意を達成できるように一日一日を過ごしてほしいと思います。

また、3学期は1年のまとめの学期であり、次の学年に進学するための準備をする学期でもあります。今の学年で身につけるべきことはしっかりと身につけられるようがんばりましょう。

次の学年に進学するための準備としては、1つ上の学年の人たちがどんな風になっているのか、どんなことに気を付けているのか、どんなことをがんばっているのかをしっかりと見て学んでください。

特に4月から最高学年になる5年生は、6年生がどんな風になっているのかしっかりと学び、最上級生としてどうすればいいのかということを考えてほしいと思います。それが日原小学校の良い伝統を引き継ぐということなのです。しっかりとがんばってください。

また、6年生はどんな姿を見せればよい伝統を引き渡すことができるか意識しながら、残り少なくなった小学校生活を大切に過ごすとともに、中学校進学に向けての準備を進めてください。

みんなでしっかりとがんばって、素敵な3学期を過ごしてください。」
直接子ども達の顔を見ながら伝えられたところでしたが、担任の先生たちから姿勢を正して、真剣な顔をして聞いていましたと教えてもらい、しっかりと受け止めてくれたのだなとうれしく思いました。

生命の誕生について考えました ～かしこい子～

5年生が、1月21日に助産師さんに来ていただいて、バースディプロジェクトの学習を行いました。誕生日について考えることで、「たった一つしかない命を大切にしよう。」という想いをもってほしいということで実施しました。

担任から様子を聞くと、助産師さんの話を真剣に聞く姿や言われたことを守ろうと気を付けながら赤ちゃん人形を抱く姿等が見られたそうです。写真を見せてもらいましたが、赤ちゃん人形を抱いているときのうれしそうなお顔や照れくさそうな顔が印象的でした。

また、子ども達のお礼の手紙の中にあつた「誕生日は自分が生まれた日で『おめでとう』とってもらっただけでなく『大切に育ててくれてありがとう』という感謝の気持ちを伝えることも大切だと分かって自分の誕生日になったら伝えたいなと思いました。」「…実際に産むときを再現してくださった時、時間をかけてすごくがんばらないといけないと聞いたり、痛そうにも見えて、私は三人兄弟なんですけど、お母さんがその『産む』ということを三回もしてきたと思うとすごく大変だったんだなと感じました。なので、命や自分自身を大切に、お母さんへの感謝も忘れずに生きていきたいと思いました。」等の文を読み、子ども達が助産師さんの言葉をしっかりと受け止め、しっかりと考えたんだと感じ、うれしく思いました。



新リーダーとして ～かしこい子～

5年生が新リーダーへの第1歩として、1月26日の昼休みに、6年生を送る会についての代表委員会を開きました。

代表委員会では、それぞれの代表が、自分たちの学年が6年生のためにしたいことを理由を付けて堂々と発表したり、他の学年のことも思いやったり、譲り合ったりして感心しました。

初めて代表委員会を運営した5年生でしたが、緊張しながらも、話し合い活動にふさわしい言葉を選びながら司会したり、下学年の学級代表のサポートをしたりと、しっかり会をすすめました。また、話し合いがスムーズに進むように話し合う内容を絞って各学年に考えてきてもらっていたこともうまく進んだ決め手になっていたと思います。

初めてのことで、この日までの計画や準備も大変だったと思います。しかし、この苦労がとても大切な経験です。全校を動かすことの大変さや準備をしっかりしておくことの大切さをしっかり学び新リーダーとして成長して欲しいと思います。

次の第2歩目は、6年生を送る会本番です。全校児童に指示を出し、会を運営していく大変さを感じてまた一つ成長することを期待しています。



伝統的な遊びや行事を伝えよう

晴れた日の校庭に凧がたくさん見られました。1年生が生活科で作った凧をあげようと元気に走りまわっていたからです。

最近は家でなかなか伝統的な遊びをしなかったりするので、生活科でさせることが多いです。凧あげのほかにもコマ回しやお手玉、けん玉、まりつき、あやとりなどもやったそうです。日本の昔からの遊びが受け継がれるのは大切なことですが、授業としてやることには少し違和感も感じます。

自分が子どもの頃は、凧もコマ回しも毎日一緒に遊ぶお兄さんたちがやっているのを見て覚えたり、コツを教わってもらったりしながら、楽しんでいるうちに身につけたものです。当時は、家に帰ってから近所の子も、1年生から6年生まで集まって一緒に遊びました。そして、その中でいろいろな遊び方を下級生に伝えたものです。そして遊び方と一緒に集団の中で守るべきルールも年下の子へと伝えていたものでした。

しかし現在は、子ども達がとにかく忙しいことや、少子化で近所に友達がいなかったりするために、家の近所でいろいろな学年が一緒になって遊ぶことは少ないです。「子ども社会の中での伝統の引き継ぎ」がなかなかできないことをさみしく感じます。

遊びだけでなく、伝統行事の中のいくつかも学校で行うことがあります。今年も低学年は七夕祭を学級でやりましたし、1年生やおおぞら学級は節分には豆まきを行う予定です。昨日は、それに向けて鬼の面づくりを行っていました。伝統行事もしっかり伝えてほしいなと思います。



2学期末には学校アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

裏面に、アンケート結果をまとめたものを載せます。あわせて、同じく2学期末に取った児童アンケートの結果も載せておきますのでご覧ください。

日原小の子

令和3年度

未来に向かって主体的に学び行動する児童の育成
～かしこい子・やさしい子・たくましい子～

日原小学校だより 9号

2学期そして2021年が終わります。

とても長かった2学期がもうすぐ終わります。全部で82日もありましたが、今振り返ってみるとあっという間だった気がします。それは、運動会、学習発表会、ロードレース記録会、いい本みつけようの会等たくさんの行事があり、その度に子ども達が、私たち職員や保護者の皆さん、地域の皆さんの期待に応える、素敵な姿をたくさん見せてくれたからです。そして本番当日に素敵な姿を見せるために、練習や準備にもたくさん取り組み、忙しかったり、大変だったりと思いますが、その経験を通して子ども達は大きく成長しました。89人全員がとてもがんばった2学期でした。

終業式の日には「あゆみ」を持って帰りますが、それと合わせて2学期のがんばりをしっかりほめてあげてほしいと思います。また、子ども達がかんばることができたのも、各ご家庭で子ども達をしっかりと見守り慈しんでくださったおかげで、子ども達の心が安定し、安心して日々の生活を送ることができたからだと思います。本当にありがとうございました。

終業式後は年末年始、2021年が終わり、2022年が始まります。2021年をしっかりと振り返り、新たな気持ちで新年の決意を立ててほしいと思います。

また、運動会や学習発表会はもちろん、「戦争体験のお話」、「天領巡り」、「ワサビ田の見学」、「高津川探検」など様々な活動を行ううえで、地域の皆さんに本当にお世話になりました。おかげさまで、子ども達の笑顔をたくさん見ることができました。紙面をかりてお礼申し上げます。3学期も引き続きよろしくお願いいたします。

がんばったロードレース大会

～たくましい子～

11月30日の3校時、今年度2回目の校内ロードレース記録会を行いました。風が強くて心配しましたが、子どもたちは元気いっぱい走りました。

冬場ですのでどうしても朝マラソンの回数が少ないことや、コンディションのせいで、記録自体は伸びなかった子もいましたが、白い息をたくさん吐きながら校庭に帰って来たり、最後の最後まで順位をせり合ったりと、一人一人の子どもたちは本当に一生懸命走りました。

放送で行った終わりの会では、友達を一生懸命応援していた素敵な姿が見られたことをほめた上で、苦しい時にこそもう一がんばりする力を身につけようということも話しました。

また、当日は、保護者の皆さんや地域の皆さんにたくさん来ていただき、ご声援いただきましたので、子どもたちも大変励みになりました。本当にありがとうございました。



今年もまた、日原地区更生保護女性会よりご寄付をいただきました。毎年毎年本当にありがたいことだと思います。

子どもたちに本を買ってあげてくださいということでもいただきましたので、学習のための本や、心を豊かに育てるための本の購入などに使いたいと思います。

本当にありがとうございました。

多数の参観ありがとうございました

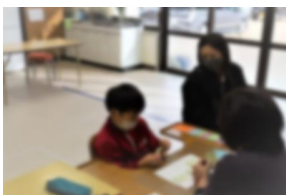
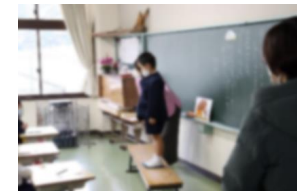
～かしこい子～

12月8日の学校公開日には、平日にもかかわらずたくさんの保護者の皆様においでいただき、本当にありがとうございました。

折しも人権週間の真っただ中でしたので、全学級人権教育に視点を当てた授業を公開させていただきました。1年生は道徳「はしのうえのおかみ」、2年生は道徳「公園のおにごっこ」、3年生は道徳「ほかほか言葉」、4年生は学級活動「ほしい物と必要な物」、あおぞら学級は学級活動「すてきなところを見つけよう」、5年生は家庭科「オリジナルみそ汁を作ろう」(『おうちの方のことを考えながら家族のため』という人権教育上の視点を当てた授業)、6年生は道徳「汚染め一揆」でした。

どの学級の児童も一生懸命考え、自分の思いをグループや全体の場で伝えていました。この日のように特設で1時間とって考えることも大切ですし、日々の学校生活の中で友達に対する気遣いをしていくことも大切です。

小学生の間に「自分を大切にするとともに、同じくらい相手を大切にする。」という気持ちを持てるようになってほしいと思っています。



自分で作ってみました。

～たくましい子～

6年生は家庭科の調理実習で、お弁当作りに挑戦しました。ちょうど出来上がって食べ始めたところに通りかかったので、どんなお弁当ができたか見せてもらったところ、どの班のお弁当もなかなか手が込んでいておいしそうでした。食べている子どもたちの顔もとてもうれしそうで、しっかり満足感を感じているようでした。

5年生の時から朝食について食育の学習で学んだり、味覚の授業を受けたり、総合的な学習で「食」について調べたりしていましたが、知るだけではなく、実際に作れることはとても大切なことだと思います。将来の自立に向けて、身につける力のうちの一つとして「自分で食べるものを自分で作れる」という力はとても大切なものだと思います。これをきっかけにおうちでもどンドン体験して、しっかり身につけ、時には家族のために一品作るなどしてほしいと思います。



日原小の子

令和3年度

未来に向かって主体的に学び行動する児童の育成
～かしこい子・やさしい子・たくましい子～

日原小学校だより 8号

学習発表会

～かしこい子・やさしい子・たくましい子～

11月20日には学習発表会を行いました。新型コロナウイルスの感染予防は続けていますが、昨年度の学年ごとに完全入れ替え制から少し緩和し、2学年分は見えていただけるようにして開催させていただきました。

まだまだ制約の多い中ではありましたが、どの学年の子どもたちも、自分達がこの半年間で学んできたこと、できるようになったこと、学びの中で感じたこと考えたことを精一杯表現することができていたと思います。

1年生は「みんなが キラキラ★ 1年生」でした。入学してきてからがんばってきたこと、自分たちができるようになったことを劇にしていました。水曜日の校内発表会の時は、恥ずかしそうに演技していた子もいましたが、本番はとて大きな声で生き生きと取り組んでいました。できるようになったことがたくさんあることも伝えることができました。



2年生は「言葉であそぼう」でした。迫力ある詩の群読や慣用句をもとにした楽しいショートコントなどでした。

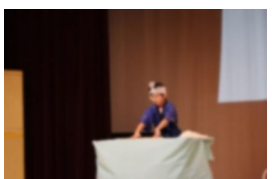
ほとんど言葉だけを使った発表でしたが、大きさ、早さ、繰り返など様々な工夫をすることで、素晴らしい表現力を発揮していました。

9人の息がぴったり合い、みんなの声が体育館に響き渡っていました。2年生とは思えないほどの完成度を見せてくれ、感心しました。

3年生は「スーパーマーケットのひみつ」でした。社会科でスーパーマーケットのことを学習し、見学に行った際に自分達が見つけたお店の人の工夫を劇にして発表しました。

3年生ともなる演技力が高まり、店長さんやお店の人、お客さん、様々な商品の役等、登場人物になりきってセリフを言う姿が見られました。ダンスや歌も素敵でした。

内容も、スーパーマーケットのひみつについてしっかり学習し、いろいろな工夫について良く見つけたことが伝わってくるものでした。



あおぞら学級の発表は、映像もうまく使った「うどんを つくろう！」の劇でした。

今年は、学習の中でうどん作りに挑戦しましたが、その時の様子を再現しており、一生懸命がんばって作ったことが伝わってきました。

セリフもとってもはっきりと聞き取れ、毎年毎年しっかり成長していることが感じられました。

4年生と一緒に、コミカルな劇に仕上げている、見ていてとても楽しめました。

4年生は「未来のために」でした。社会科で学習したごみ処理の学習の際、いろいろな施設に見学に行き、たくさんの方からお話を聞くことで学んだことを劇にして発表しました。

大人でも間違えてしまいがちな分別の仕方について、ユーモラスな内容でありつつしっかりと分かりやすく伝えることができていました。



また、単にごみ処理の仕方を学ぶだけでなく、「限りある資源を大切にしていくこと」、そして「そのため自分ができるとは何か」「みんなに伝えたいことは何か」をしっかりと考えて、それを伝えようといふことが発表の劇になっていました。



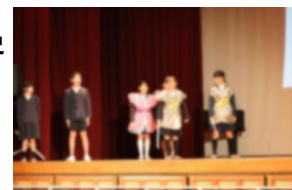
5年生は「今と昔へタイムスリップ ～産業編～」でした。総合的な学習で調べてきた、地元日原の産業について、今と昔を対比させながら劇にしていました。

1学期に行った「天領散歩」で教えていただいたことや、2学期に実際に蚕の飼育をしてきたことを元に作られていましたが、場面構成やセリフを全部自分達で考え、相談しながら作り上げていったことを聞き、さすが高学年と感心しました。

6年生は「修学旅行へLet's go!」でした。修学旅行で様々な歴史上の人物と出会うというコンセプトで、今学んでいる室町時代までの日本の歴史を楽しく伝えると共に総合的な学習で学んだ平和学習の際に感じた思いを劇にして伝えました。

前半は、見ている人を楽しんでもらえるように工夫すると共に、自分達も楽しみながら表現していました。この後どのような歴史の流れの中で平和学習で学んだ戦争の時代へ続いていったのかしっかりと学習してほしいと思います。そして、平和学習の際に一人一人が感じたことをずっと大切にしていってほしいと思います。

また、最後のバスの中の場面「せめて出雲大社にはいきたかったな…」などのセリフを聞きながら、「本当にそうだろうなあ。」「今ならいろんな所に行かせてやれたのになあ。」と一緒に修学旅行に行った者として思われました。ただ、できた範囲でしっかり修学旅行を楽しんだ6年生を見習い、新型コロナウイルスに負けずに、子ども達の学校生活が充実したものになるようにがんばっていきたく改めて思われました。



今年も給食米を寄贈していただきました

今年も町内の農事組合法人が集まって結成された「わくわくつわの協同組合」の皆様よりお米を寄贈していただきました。なんとこれで4年続けたの寄贈です。「安心安全でおいしい地元の米を、ぜひ町内の児童に食べてほしい。」という組合の皆様の熱い思いがこもったお米です。

贈呈式では30kg入りの袋が104袋用意されていたそうです。合計3t超の量のご寄贈です。これは給食に必要なお米の約半分の量にあたるということでした。

贈呈式は本部で行われたので、地元の木部小学校の子ども達は式に参加して直接お礼を言っていました。日原小学校の子ども達もしっかり感謝の気持ちを持ち味わって食べてほしいと思います。

12月の途中からはこの寄贈されたお米を日々感謝しながら食べることとなります。本当にありがたいことだと思います。



【生産者の方々の想い】

津和野町では年々人口が減少しており、以前に比べ子ども達も少なくなっている。

高校を卒業してからは進学や就職のため、町外に出て行くものが多い。これから巣立っていく子ども達に農業の大切さを、津和野の米を通じて知ってもらおうとともに「ふるさとのお米」として覚えて欲しい。辛い時、苦しい時はその味を思い出して津和野に帰ってきて欲しい。

その想いから町内全ての農事組合法人から米を出し合い、町内の子ども達に対して米104袋を無償提供することとなった。

(学校給食用米贈呈式のしおりより抜粋)

日原小の子

令和3年度

未来に向かって主体的に学び行動する児童の育成
～かしこい子・やさしい子・たくましい子～

日原小学校だより 7号

うれしく思いました

～やさしい子・かしこい子～

先日見守り隊の方々との顔合わせの際に、とてもうれしい話を聞きました。最近とても感動した出来事があったとはなしてくださったのですが、「この前、登校してきた1年生の子が突然転んで顔にけがをした。するとそれを見た高学年の子が、『カバンを頼む』と友達に言いながら、自分のランドセルを放り投げるようにして、1年生のところへ駆けつけ、やさしく声をかけながら助け起こし、学校までおぶっていった子がいた。それを見てとても感動した。」とおっしゃってくださいました。それを聞き本当にうれしくなりました。

日原小学校の児童は、本当にやさしい子が多いです。2年前にも転んで泣いている下級生をおんぶして連れてきてくれた班長さんもいました。それだけでなく、普段から上級生が下級生の面倒をととても良くみてくれています。日原小学校のととても良い伝統だと思っています。これからも受け継いでいってほしいと思います。

もう一つ、うれしい姿を見ることもできました。登校してきた4年生の子が、突然しゃがみこんだのでどうしたのかなと見ていたら、道に落ちていたゴミを拾っていました。担任に素敵な姿を見たよと伝えたら、他にも登校中にゴミを拾ってきた子がいたとのことでした。そして、その姿が見られたのは一日だけではありませんでした。次の日もその次の日も続き、とうとうゴミを入れる袋を持って登校してくる日もありました。声をかけてみると「ゴミがたくさん落ちているから。」と答えが返ってきました。

4年生は、ちょうど社会科でゴミの始末について学習している最中で、10月上旬にはグリーンセンター等に見学に出かけ、10月21日の参観日の日には枕瀬公民館の上瀬口館長さんに来ていただき3Rについて学んだばかりでした。学校で学習したことが、教室の中で終わらず、実際の生活の中で行動として現れることはとても素晴らしいことだと思います。本当の意味でかしこい子と言えると思います。こんな姿がどんどん広がっていくといいなと思っています。



小中交流学習

～かしこい子・たくましい子～

10月22日には小中交流学習があり、6年生が10時30分から16時前まで中学校で過ごしました。行く前はかなり緊張していたようでしたが、すぐになじみ、私が中学校に様子を見に行った時には、かなり落ち着いた様子でした。

中学校の先生の授業を体験する理科の授業の時は、課題を解決しようと、一生懸命観察したり、原因についてグループで熱心に話し合ったりする姿が見られました。共通の情報を持って話し合うグループ活動をした後、その情報を持ち寄り異なる情報を持って話し合うグループ活動を行うという「協調学習」を初めて体験していましたが、スムーズに話し合うことができていたと思います。

2週間前に一緒に修学旅行に行っていたこともあり、青原小学校の子どもたちとも仲良く過ごすことができました。

次の週に何人かの6年生に話を聞いてみたところ、一番印象に残ったのは部活体験だったようです。すでに入る部活動を決めたという子もいれば、2つの内どちらにしようか迷っているという子もいました。中学校入学に向けてよい体験となったようです。



秋の実りがどっさり

～たくましい子～

1. 2年生は学級前の花壇でサツマイモを作っていました。花壇なので大きないもができるとは思っていませんでしたが、掘ってみてびっくり、とても大きないもがどんどん出てきて、子ども達は大喜び、たくさん収穫することができました。また、そのあと描きたいもほりの絵にも、たくさんできた喜びがあふれていました。自分の手で蔓を引っ張り、土にさわって、いもを掘り出し、五感を使う直接体験をこれからもたくさんさせたいと思います。

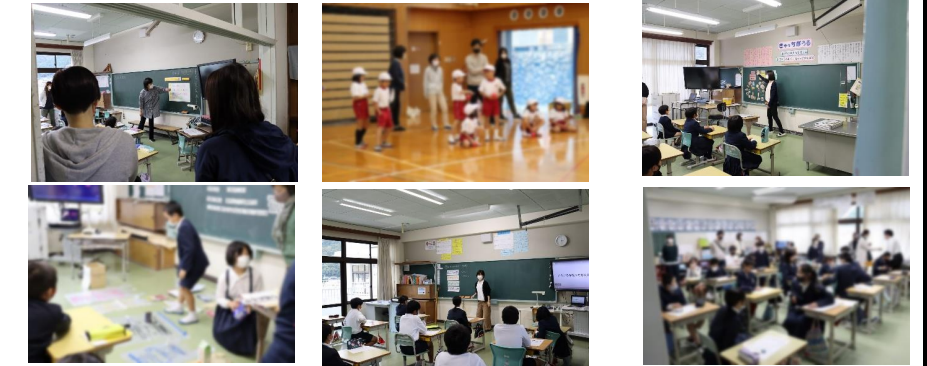


学校公開日

～かしこい子～

10月21日の学校公開日には多数おいでいただきましてありがとうございました。1年生は算数で繰り上がりのあるたし算、2年生はPTC活動としてポッチャ、3年生は食育、4年生は社会で3Rについて、5年生は道徳で多様な性について、6年生は道徳で権利について学習しました。残念ながら予定していた学校保健委員会やPTA研修はできませんでしたが、子ども達が一生懸命がんばる姿を見ていただくことができてよかったです。

普段授業を見て回っている時も、楽しそうに勉強していますが、お家の方に来ていただいて、普段以上に張り切っている子が多かったです。



家庭学習について

～全国学力調査より～

前号に続いて、全国学力調査(6年)の児童質問紙の結果から考えたことをお伝えします。下の資料はゲームに関する調査結果です。ゲームをしている子から全くしない子までばらつきがあります。全体的にみると、全国より少ない傾向にあります。お子さんはどのくらいゲームをしているのかご家庭でも話してみてください。

